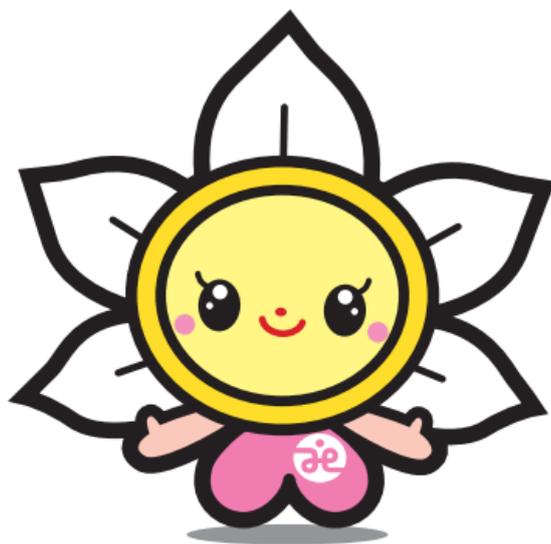


令和6年度
社会福祉法人和泉市社会福祉協議会
事業報告書及び一般会計決算書



マスコットキャラクター
「スマイルすいちゃん」



テーマ 「笑顔が可愛い水仙の妖精」

☆スマイルすいちゃんの特徴☆

性 格：みんなにやさしい
困っている人をほっとけない
好きなもの：和泉市、みんなの笑顔
口 ぐ せ：「～しましょうか？」
お 仕 事：幸せを運ぶ、花運び

令和6年度事業報告

【事業概要】

令和6年度は、令和5年度に新型コロナウイルス感染症（以下、「コロナ禍」という。）が感染症法上の5類に移行された後、1年間を通じ、ほぼ通常の活動を実施することが出来ました。また、令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、様々な要因により、復興のスピードが遅く、令和6年度を通じて、被災地の社会福祉協議会への職員派遣や災害ボランティアバスの運行を行う等、災害についての対応も意識する年となりました。この様な背景の中で推進した、和泉市社会福祉協議会（以下、「本会」という。）の活動について主な事業ごとに報告いたします。

地域包括支援センターでは、支援を必要とする高齢者、特に認知症やその家族を地域で支える体制としてチームオレンジの結成や専門職による初期集中支援などの取り組みを充実させるため、令和6年10月から認知症地域支援推進員を新たに配置いたしました。

居宅介護支援事業では、介護給付・予防給付ともにプラン作成件数は一定を維持しつつ、ケアマネジャーの人員確保にも注力しています。また、要介護認定調査事業では、ひと月に330件ほどの調査依頼があるため、新規を中心に効率化と正確性を意識しながら対応にあたっています。

ホームヘルプ事業では、感染症などの流行にともなう利用者減少や利用控えの解消のため積極的な新規利用者の受け入れを行いました。また、サービス提供体制（職員配置及び介護職員の処遇・環境改善事業等）の健全化を図り、利用者ニーズへの対応力を強化するための事業の適正化に努めました。

成年後見中核機関運営事業では、令和6年10月から新規事業として、和泉市が設置した中核機関における、市民・親族後見人等分野の支援窓口機関として、成年後見制度に関する市民の理解や活用促進に向けた周知活動や研修会の開催、市民後見人の養成ならびに親族または市民で成年後見人等として活躍されている方に向けたサポート体制整備を行いました。

コロナ禍による収入減収世帯を対象に貸付を行った、コロナ特例貸付資金は、和泉市でのべ8,500件を超える件数となっているため、携帯電話のショートメッセージを活用し、借受世帯へのアプローチを行い、フォローアップ支援を実施しました。

総合福祉会館では、会館の貸館団体の方や年輪大学院卒業生で作ったボランティアが「しゃきょう元気隊」に入ってください、地域のサロンや福祉施設からの依頼に基づき活躍の場を持ち、生き生き輝き、活躍していただけるよう、支援を行いました。

北部総合福祉会館では、人気のある講座については、同じ講座を複数回開催することで、より市民の方が受講しやすくなるよう工夫しました。また、これまでは参加者が少なかった男性も、健康にこれからの人生を過ごせるようにと健康体操講座や高齢ヨガ講座への参加がみられました。今後も市民の方に気軽に参加していただける講座開催を継続してまいります。

令和6年度の事業計画において、重点項目に★マーク・下線・説明を入れていました。
今回の報告では、★マークを入れた事業について詳しく報告を行っています。

【事業】

[1] 法人運営

(1) 理事会／評議員会の開催

1. 理事会

開催日	開催回	審議事項	
令和6年5月30日	第1回	議案第1号 議案第2号 議案第3号	評議員選任候補者の一部推薦について 令和5年度社会福祉法人和泉市社会福祉協議会事業報告書及び一般会計決算書の承認について 令和6年度第1回社会福祉法人和泉市社会福祉協議会評議員会の開催について
令和6年6月17日	第2回	議案第1号 議案第2号 議案第3号 報告第1号 報告第2号	副会長の互選について 社会福祉法人和泉市社会福祉協議会事務分掌規則の一部を改正する規則制定について 社会福祉法人和泉市社会福祉協議会プロジェクトチームについて 会長の職務の執行状況について 社会福祉法人和泉市社会福祉協議会職員の育児・介護休業等に関する規則の全部を改正する規則制定について
令和7年3月17日	第3回	議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第5号 議案第6号 議案第7号 議案第8号 報告第1号	令和7年度社会福祉法人和泉市社会福祉協議会事業計画及び一般会計予算書の承認について 社会福祉法人和泉市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会運営規則の一部を改正する規則制定について 評議員選任・解任委員会の選任について 社会福祉法人和泉市社会福祉協議会職員就業規則の一部を改正する規則制定について 社会福祉法人和泉市社会福祉協議会職員給与規則の一部を改正する規則制定について 社会福祉法人和泉市社会福祉協議会事業安定化基金の取り崩しについて 令和7年度役員等賠償責任保険について 令和6年度第2回社会福祉法人和泉市社会福祉協議会評議員会の開催について 会長の職務の執行状況について

2. 評議員会

開催日	開催回	審議事項	
令和6年6月17日	第1回	議案第1号	理事の一部選任について
		議案第2号	令和5年度社会福祉法人和泉市社会福祉協議会事業報告書及び一般会計決算書の承認について
令和7年3月27日	第2回	議案第1号	令和7年度社会福祉法人和泉市社会福祉協議会事業計画及び一般会計予算書の承認について
		議案第2号	社会福祉法人和泉市社会福祉協議会事業安定化基金の取り崩しについて
		報告第1号	社会福祉法人和泉市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会運営規則の一部を改正する規則制定について
		報告第2号	社会福祉法人和泉市社会福祉協議会職員就業規則の一部を改正する規則制定について
		報告第3号	社会福祉法人和泉市社会福祉協議会職員給与規則の一部を改正する規則制定について
		報告第4号	令和7年度役員等賠償責任保険について

3. 評議員選任・解任委員会

開催日	開催回	審議事項	
令和6年6月7日	第1回	議案第1号	評議員の一部選任について

(2) 事業及び会計監査の実施

開催日	開催回	審議事項	
令和6年5月15日	第1回	議案第1号	令和5年度社会福祉法人和泉市社会福祉協議会の事業報告及び一般会計決算に関する監査について

(3) 本会の専門性を総合的に活用した支援体制の構築

本会では、地域支援、高齢者支援及び障がい者支援等各分野において、相談支援やサービス支援をはじめ、あらゆる問題に対し包括的に適応できる総合支援型社会福祉協議会として各種事業を実施することにより、支援体制の構築に努めています。

(4) 職員の資質向上のための育成研修の実施

令和5年度に続き、人事評価制度の一環として「成長支援シート」という自己評価シートを用い、所属分野の専門職としてだけでなく法人職員としての目標設定や達成度合いを6カ月ごとに評価しました。また、10月から社会人として、本会の職員の一員として基本的なスタンスや考え方を学ぶ機会として、次世代人材育成研修を実施しました。

(5) 安全衛生委員会の開催

労働安全衛生法及び労働安全衛生規則に基づき、労働者が 50 名以上いる事業所に必置となっている安全衛生委員会を産業医の指示・監修のもと毎月 1 回開催し、法人内で必要となる知識や技術をテーマとした研修会の実施や情報共有を図りました。

同時に、心理士によるカウンセリング体制も整備し、職員が気軽に相談できる場を設置しました。

[2] 組織体制の強化と財源の確保

(1) 地域支援事業と個別支援事業の連携および協働

本会は、地域支援と個別支援の両方を実施していることから、積極的に両事業の連携・協働に努めています。

(2) 会員加入に向けたPR、賛助会員ならびに組織構成会員の拡大

(住民会費)

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
世 帯 数	36,059 世帯	36,853 世帯	37,915 世帯

(賛助会員会費)

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
個 人 数	69 人	62 人	40 人
団 体 数	24 団体	25 団体	30 団体

(組織構成会員会費)

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
団 体 数	17 団体	17 団体	17 団体

(3) 自主財源の確保 (ホームページや広報紙への有料広告の掲載等)

1. 自主財源の確保及び啓発活動

自主財源の確保と本会を広く市民に周知するため次の事業を行いました。

項 目	総 重 量	摘 要
プルトップ回収	100kg	自主財源として 12,100 円分に相当
エコキャップ回収	905kg	リサイクル資源募金として 4,525 円分に相当

2. 有料広告の掲載

本会を広く市民に周知する目的で年 4 回発行している「社協いずみ」に広告を掲載するスペースを設け、有料広告の募集を行いました。

(4) 健全な財政運営と経費の節減

善意銀行の運営

1. 寄付の状況（通常寄付）

（単位：円）

収入		支出	
金銭寄付	671,008	児童養護施設退所者祝い金	90,000
利息	5,030	消耗品・事務費	8,307
		次年度繰越金	577,731
合計	676,038	合計	676,038
物品寄付	食料品 (米、菓子、缶詰、ジュース等) 日用品 (タオル、雑貨、衣類等)	物品活用	子ども食堂、生活困窮者レスキュー事業等に提供

2. 寄付の状況（ウクライナ義援金）

（単位：円）

収入		支出	
前年度繰越金	6,344,229	次年度繰越金	6,344,229

※次年度繰越金については、日本赤十字社を通じ令和7年度以降の寄付を予定しています。

(5) 介護保険法ならびに障害者総合支援法関連事業の安定的な運営

詳細は、「[9] 高齢者支援事業」及び「[10] 障がい者（児）支援事業」をご参照ください。

(6) 市が推進する福祉施策の基幹的役割を担うための基盤強化

[5] 「第5次地域福祉基本・活動計画の推進」にも記載のとおり、市と協働で計画の推進にあたった他、市が主催する福祉に関する各種会議・委員会への参画を行いました。

[3] 社会福祉活動等の啓発及び推進

(1) 社会福祉のつどいの開催

詳細は、【8】校区社協活動の推進（1）をご参照ください。

★ (2) 赤い羽根共同募金運動・地域歳末たすけあい募金運動の推進

1. 赤い羽根共同募金運動（運動期間：10月1日から12月31日まで）

【街頭募金】

理事、監事、評議員、校区社協会長、校区社協ボランティア代表、民生委員・児童委員に加え、新たに手をつなぐ親の会の会員の協力を得て、駅前（和泉府中駅、信太山駅、北信太駅）及びオークワ和泉中央店、葉菜の森、コープ和泉中央店、道の駅いずみ山愛の里、エコール・いずみ、スーパーセンターオークワ和泉納花店、ショップサンパール、ダイエー和泉店、オークワ和泉小田店、万代和泉万町店、スーパー玉出信太山店において街頭募金を行いました。

街頭募金実施日	協力者数
10月1日・2日（3日・4日は雨天のため中止）	77人



【保育園児等による街頭募金】

さいわいこども園、すいせん保育園、いぶきのPreSchool、すいせん府中保育園、信太保育園、てらかど保育園、横山きのみこども園、池上わかばこども園にご協力いただき、駅前（和泉府中駅、信太山駅）及びスーパー玉出信太山店、オークワ和泉小田店、エコール・いずみ、デイリーカナート鶴山台店、ダイエー和泉店、スーパーセンターオークワ和泉納花店において街頭募金を行いました。



街頭募金実施日	協力者数
令和6年10月11日・17日・23日・25日・29日・30日 11月5日・6日	255人

【募金実績】

（単位：円）

収入		支出		
科目	金額	科目	金額	備考
地域助成金 （令和5年度 分配分金） その他特別助 成	2,868,538	高齢者・障がい者・ 児童向け福祉活動	1,753,254	各種スポーツ大会助成金、広報発 行等
	1,145,502	ボランティア等福祉 育成活動	2,260,786	校区社協ボランティア助成、研修 会、イベント開催（昔あそびを楽 しもう）、社会福祉のつどい、地域 貢献連絡会 等
合計	4,014,040	合計	4,014,040	

※令和5年度募金実績に応じて配分された金額です。

種 別	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
戸別募金	4,158,070	4,420,200	4,518,111
法人募金	537,351	547,134	492,845
学校募金	269,338	204,673	286,959
街頭募金	438,540	496,954	401,947
バッジ募金	290,000	309,000	322,000
職域募金	0	0	24,506
その他	170,874	208,610	122,695
合 計	5,864,173	6,186,571	6,169,063

【配分金を活用した世代間交流イベントの開催】（昔あそびを楽しもう！）

和泉市老人クラブ連合会との共催イベント「昔あそびを楽しもう！」をエコール・いずみアムゼ広場で開催しました。紙芝居屋さんを招いたり、竹ぼっくり、だるま落とし等昔ながらの遊びを多くの親子に楽しんでもらい、多世代の交流の場となりました。



2. 地域歳末たすけあい運動（運動期間：12月1日から12月31日まで）

【募金実績】

（単位：円）

収 入		支 出		
科 目	金 額	科 目	金 額	備 考
義援金	1,744,731	ひとり暮らし誕生日プレゼント訪問	585,750	プレゼント代等
		ひとり暮らし高齢者の会支援	712,724	運営費・保険代
		地域福祉かがやき助成金配分	319,058	ボランティア団体等への活動費用の助成
		「みんなのカレンダー」作製	127,199	作製費用等
合 計	1,744,731	合 計	1,744,731	
義援品	雑巾 370 枚 タワシ 200 個	義援品活用	児童・障がい者等の各施設へ配分 雑巾 370 枚、タワシ 200 個	

(3) 地域福祉かがやき助成金事業の実施

市内で地域福祉活動の振興と市民の福祉向上を図ることを目的とした事業活動を行うボランティア団体等で、申請・審査を経て認定された団体に助成を行いました。

(募集团体数は6団体)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
交付数	5団体	6団体	6団体

《助成による活動内容》

- 子ども食堂&子どもの居場所立ち上げ・・・子ども食堂の立ち上げに必要な物品等の購入や宣伝費用
- 20歳のお祝い・・・障がい特性ゆえに一般の「はたちのつどい」に参加できない方へのお祝い
- 手話講座・・・聴覚障がい者自身が手話講座を通して障がい理解の普及啓発を行う
- 市民へ「落語」を通じて笑いを広める・・・定期公演と出前寄席を通して、明るい地域社会の笑いの向上を目指す
- 愉快で楽しい不思議なマジックショー・・・マジックの公演（出前講座も含む）を通じ、高齢者、障がい者（児）、子ども、ひとり親家庭等、広く地域の方々にマジックで豊かな非日常を提供

[4] 福祉情報の提供と事業活動のアピール

(1) 社協広報誌等の発行

社協いずみの発行（年4回）

発行月	通算号数	主な内容
令和6年7月	第138号	子育てサロンや子ども向けの福祉向上イベントについて
令和6年10月	第139号	赤い羽根共同募金の周知啓発について
令和7年1月	第140号	「小学校区別アクションプラン」の実現に向けた活動について
令和7年4月	第141号	市内での地域福祉活動について

※令和7年4月号は、令和6年度事業として発行

★(2) 社協ホームページ等の活用

昨年度、ホームページのリニューアルを行いました。引き続き、見やすく、分かりやすく、新たな情報をお伝えできるよう、定期的に更新を行いました。

右に、本会のホームページのQRコードを添付していますので、一度、アクセスしてみてください。



(3) 路線バス車中広告の活用

南海バス光明池営業所の路線バスを対象に、ボランティア募集をお知らせする車中広告を掲載しました。

★（４）本会をPRするためのマスコットキャラクターとオリジナルグッズ等の作成

マスコットキャラクター「スマイルすいちちゃん」の着ぐるみを新たに作成し、イベント等で使用しました。また、缶バッジ及びクリアファイルについても、引き続き、本会のPRに活用しています。



★（５）「ココスル」～暮らしの情報応援サイト～の運営

和泉市内及びその近郊の障がい者の支援に関する相談支援や入・通所サービス等の開廃情報や、各施設の事業実施（内容）状況や利用に係る空き情報をできるだけ直近情報として提供するための運営に努めました。

市内の事業関係者、協力者のシステムに対する認知度が上がり、より機能性を上げて欲しいというニーズも挙がってきています。内容の更新を行い最新情報を提供しつつ、機能性アップについても検証を行って参ります。

[5] 第5次地域福祉基本・活動計画（令和6年度～令和10年度）の推進

1. 第5次地域福祉活動計画の実践

第5次地域福祉基本・活動計画

基本理念 『誰もが主人公！一人ひとりが輝けるまち和泉』

基本目標

- ① 包括的で身近な相談、支援の仕組みづくり
- ② 切れ目ない・こぼれない支援の仕組みづくり
- ③ 多様な主体どうしの連携による担い手・社会資源の拡充
- ④ 誰もが、自分らしく、安心して、楽しく暮らせるまちへ
- ⑤ 地域共生社会の実現に向けての機運醸成、意識改革、体制整備、議論の場

地域福祉基本計画と地域福祉活動計画を一体化し、取組みの関係性を明確にすることで、地域に住む誰もが安心していきいきと暮らし続けられるまちづくりに取り組みました。

また、校区别アクションプランに基づく協議や地域活動を地域住民や関係機関と協働で進めました。

施策内容（主なもの）	経過
地域の課題を定期的に話し合える協議の場づくり	<p>○『協議の場』の開催状況：19校区にて計44回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校区別アクションプランの進め方について ・地域住民相互の見守りについて ・子どもの居場所づくりについて ・防災・減災の取り組みについて等 <p>○協議の場実践活動補助金の交付</p> <p>協議の場で議論された地域課題解決の為の住民活動に対し、11校区に交付</p>
地域情報の収集、共有、発信	<p>○校区社協PR補助金の交付</p> <p>校区社協が提供するサービスの利用促進及び地域住民のボランティア活動への参加促進を目的とした周知活動に対し、11校区に交付（うち5校区は広報誌を作成、4校区はユニフォーム、1校区がのぼり旗、1校区は防災啓発グッズを作成）</p> <p>○バス補助金の交付</p> <p>小地域ネットワーク活動の振興を図ることを目的とした活動に対し、11校区に交付（うち8校区は交流と親睦、3校区が防災センター）</p>
福祉教育・市民学習の推進	<p>○小学校を対象に福祉教育の実施</p> <p>福祉教育への協力 5校で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ふくしきっかけ講座～ふくしってなんだろう？～ ◎ユニバーサルデザイン学習 ◎年末の見守り訪問（高齢者対象）で活用する絵葉書作成 ◎協議の場から生まれた活動を知る（移動販売車見学） <p>○年輪大学・年輪大学院における福祉プログラムの充実</p> <p>講義「地域福祉について」</p> <p>講義「子ども食堂について」</p> <p>○福祉教育実践に関わる職員の研鑽、資質向上を目的に研修会等への受講</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎府社協主催「総合的な福祉教育実践研究会」3回シリーズ ◎全国福祉教育推進員研修 3回シリーズ
総合的な相談支援体制の充実	<p>○相談窓口の周知啓発</p> <p>広報紙「社協いずみ」に記事掲載</p>
進行管理と評価	<p>○和泉市地域福祉推進協議会 2回開催</p> <p>開催：令和6年8月 令和7年1月</p> <p>○和泉市福祉でまちづくり委員会 2回開催</p> <p>開催：令和6年9月 令和7年2月</p>
地域福祉推進コーディネーター事業との連携	<p>○協議の場等の活動の充実や課題解決に向けた支援について、地域福祉推進コーディネーターと連携しながらの取り組みを実施</p>

○和泉市校区別アクションプラン実践報告会の開催（令和6年12月9日） 130名参加

武庫川女子大学心理・社会福祉学部社会福祉学科教授 松端克文 氏にコーディネーターを依頼し、1部では光明台南及び信太の2校区から校区別アクションプランの実践報告をいただきました。2部ではそれぞれの校区での進捗状況等を共有しました。



[6] 市内社会福祉施設等の地域貢献事業との連携

(1) ボランティア表彰の推薦

和泉市内に所在する社会福祉法人等で組織する和泉市社会福祉施設地域貢献連絡会の会員施設との連携として、ボランティア表彰の推薦に向け、検討を行いました。

(2) 共同募金運動への協力

(1) と同じく、地域貢献連絡会の会員施設との連携として、共同募金運動への参加協力依頼を行いました。

(3) 和泉市社会福祉施設地域貢献連絡会の定期開催及び連絡会と協働した取り組みの検討

令和6年度は、地域貢献連絡会を2回開催しました。

○第1回目（令和6年8月20日）

子どもの居場所づくりを進めている法人と子どもから高齢者、障がい者などだれでも参加できる地域共生複合カフェを開催している法人の活動を共有するとともに、11月に予定をしていた『社会福祉のつどい』への協力を呼びかけました。

○第2回目（令和7年2月25日）

こども園でのすまいるサポーターの活動や保護者会が実施したフリーバザーと大阪しあわせネットワークとの連携について法人の活動を共有するとともに、令和7年4月から和泉市で初めてコミュニティフリッジを立ち上げられる学校法人に参加いただき、立ち上げの経緯等のお話をいただきました。

社会福祉法人として、様々な形の地域貢献があることを共有し、地域の方のために、今後も協働していきます。

[7] 地域福祉教育事業の実践

(1) 地域人材の発掘ならびにつながり作りの支援

【地域活動の担い手の確保や育成のための支援】

① 「楽農くらぶ」の開催

農業という趣味活動を入り口として、地域での多世代のつながりや支えあいの大切さを知るきっかけ作りを目指した講座を5月～10月に(全12回)開催しました。

講座には子育て世代が2組参加し、ふくし農園の仲間たちとのつながりを深めました。



② 「子ども食堂&子どもの居場所づくりスタート応援講座」の開催

子どもの居場所づくりに興味がある市内在住もしくは在勤の方を対象とした担い手講座で、内容は『子ども食堂とは』『市内で活動する子ども食堂さんのお話を聞いてみよう』『財源や協力者を確保する方法を考えてみよう』『一緒に企画してみよう』という4回シリーズの講座です。参加者同士のつながりが深まるようお互いを知る機会を多くとるよう工夫しました。

講座には20歳代から70歳代の22人の方が参加いただき、講座終了後に3か所で子ども食堂が立ち上がりました。



★ (2) 青少年及び若年層に向けた福祉教育への啓発および支援

小学校向け福祉体験学習の実施や認知症機能強化型地域包括支援センターが開催する若年層向けの認知症サポーター養成講座への協力を行いました。

(3) 年輪大学・年輪大学院受講者へのボランティア体験支援と地域活動への参画支援

しゃきょう元気隊

令和4年度から「しゃきょう元気隊」の活動がスタートしました。福祉会館をご利用の団体に「しゃきょう元気隊」として登録していただき、地域からの依頼があれば自分たちの特技を活かしてイベントなどで披露しています。

令和6年度は、多くのいきいきサロンや高齢者や障がい者施設でのお楽しみ会に定期的に訪問し、紙芝居や歌、手品、楽器演奏、カーレット等、ジャンルが増えた特技を披露し、皆さんに大変喜んでいただきました。他には、幼稚園、放課後デイサービス、当事者の会からの依頼もあり、口コミでの依頼が多数入るようになった事で、年間の参加者は2年間で10倍の1,100名を超え、元気隊の認知が広まっています。

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
実施回数	55回	32回	5回
ボランティア派遣合計	234人	99人	19人
参加者数	1,130人	332名	106名

(4) 認知症サポーター養成講座の定期的な開催

誰もが認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者を増やすことを目的に開催しました。

○総合福祉会館（参加者数 40 人）

○北部総合福祉会館（参加者数 9 人）

(5) あいサポーター養成講座の定期的な開催

誰もが多様な障がいの特性、障がいのある人の困りごとを理解して、ちょっとした手助けや配慮を実践できるよう、障がいのある人が暮らしやすい地域社会（共生社会）をみんなで作るための研修として開催しました。

○総合福祉会館（参加者数 8 人）

○北部総合福祉会館（参加者数 7 人）

(6) 新たな知識やスキル獲得を目的にボランティア対象の研修会を実施

詳細は、「[8] 校区社協活動の推進」をご参照ください。

(7) 大阪府市町村社会福祉協議会連合会が実施する大学生向けオープンカンパニーの積極的な受け入れ

令和 6 年度は 1 名の大学生を受け入れ、5 日間で様々な活動を体験いただきました。

[8] 校区社協活動の推進

★ (1) “社会福祉のつどい”における校区社協活動の周知啓発

11 月 17 日に『第 31 回社会福祉のつどい』を和泉シティプラザレセプションホールにて開催しました。第 1 部では、社会福祉・地域福祉の推進にご尽力いただいている方々へ“感謝の気持ち”とともに表彰状の贈呈を行いました。

第 2 部では、昨年に引き続き『社協のおまつり』と題したイベントを行い、若い世代が“社協”を知るきっかけとなるよう校区社協ボランティアの協力のもと、子育て世代も楽しめる子どもの遊びコーナーの設置や校区ごとの活動を紹介するパネル展示を行いました。当日は、来場者参加型のダンスやパネルシアターなどの舞台発表に加えて、初めて和泉市社会福祉施設地域貢献連絡会から利用者である障がいのある方と共に 1 法人が参画し、ミュージックケアで会場を盛り上げてくれました。

子どもも、高齢者も、障がいのある人も共に集える共生の場への一歩となりました。

感謝状贈呈

(単位：人)

内 容	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
協 助 者	—	—	1

表彰状贈呈

(単位：人)

内 容	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
退任心配ごと相談員	1	4	—

校区社協会長	1	1	1
校区社協ボランティア10年	36	69	57
校区社協ボランティア20年	39	73 (20年以上)	
校区社協ボランティア30年	5	13 (30年以上)	



第1部
社会福祉のつどい
ボランティア表彰の様子



第2部
社協のおまつり
約400人来場



(2) 地域福祉活動の実施内容に関する検討および協議

★ふれあい訪問事業

「ふれあい訪問」は、長年実施してきた「ふれあい配食サービス」を見直し、新たな見守り事業として令和6年6月から開始しました。令和6年度は、本来見守るべき方を見守ることができる事業へと変革させるべく、新規利用者の募集は行わず、当該ボランティアや関係機関等と“対象者基準”や“見守り体制”などについて協議してまいりました。ようやく、新たな利用者基準が決定し、令和7年4月から新規募集を行うこととなりました。

○ 協議した場面

- ・ボランティアへのアンケート調査 1回
- ・校区社協会長、ボランティアを委員とする見守り検討会議の開催 7回
- ・校区社協会長会及びボランティア連絡会での協議 随時
- ・民生委員児童委員協議会への意見聴取 2回
- ・地域包括支援センターへの意見聴取 5月包括圏域別エリア会議

○ 新たな事業として工夫した点

- ・『ご自身に見守りが必要』『地域とのかかわりが少なくなっている』と感じる方であり、フレイル（虚弱高齢者）状態にある方をチェックリストにて対象者として選出
- ・『ふれあい見守り事業』を通して、地域住民の障がい者理解が深まることを目的とすると共に、障害者優先調達推進法に基づき、授産製品の提供と訪問ステーションまでの商品の配送を障がい就労継続支援B型事業所に依頼しました。



(3) 小地域ネットワーク活動の充実

1. サロン活動の推進

内 容	サロン数 令和 6 年度	おもな活動内容	サロン数 令和 5 年度	サロン数 令和 4 年度
いきいき サロン	149 か所	茶話会、健康体操、ゲーム、小物作り 作品展 等	149 か所	155 か所
子育て サロン	11 か所	リズム体操、絵本の読み聞かせ、工作 等	11 か所	10 か所

2. いきいき健康サロンの実施

各いきいきサロンを対象に、参加者の健康保持とプログラム充実のため看護師と健康運動指導士を派遣し、検尿・血圧測定や健康体操を実施しました。

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
実施校区数	16 校区	15 校区	14 校区
回 数	64 回	63 回	41 回

(4) 校区社協の健全な組織運営と財政管理への支援

1. 校区社会福祉協議会の活動

高齢者支援、障がい者支援、子育て支援、児童・青少年支援等といった各分野での地域で発生する生活課題（福祉ニーズ）に対し、校区社協ボランティアを中心とした住民同士の相互協力によって解決していくための「校区社会福祉協議会」としての活動を支援しました。

2. 校区社協ボランティア活動の実施

校区社協ボランティア登録者数（令和 7 年 3 月 31 日現在）

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
登録者数	1,193 人	1,220 人	1,223 人

(5) 校区社協会長会議、校区社協ボランティア連絡会議の開催

1. 校区社会福祉協議会会長会

項目	開催回数
校区社協会長会	6 回
校区社協役員会	6 回

各校区社協会長に集まっただき、小地域ネットワーク活動の推進に係る検討や「ふれあい訪問」のあり方等に関する検討、各種地域活動等の情報提供や意見交換等を奇数月の第 2 金曜日に校区社協会長会を開催しました。

また、偶数月の第 4 金曜日には、校区社協会長役員 5 名により、会長会での案件について事前に協議・検討等を行う校区社協会長役員会を開催しました。

2. 校区社協ボランティア連絡会・幹事会

項目	開催回数
校区社協ボランティア連絡会	6回
校区社協ボランティア幹事会	6回

各校区の校区社協ボランティア代表に集まっていたいただき、地域でのボランティア活動の促進と各種事業を円滑に図るための連絡調整や協議、情報共有等の場として、偶数月の第2金曜日に校区社協ボランティア連絡会を開催しました。特に令和6年度は、「ふれあい訪問」を含む校区社協ボランティアによる見守り活動のあり方に関する検討を重ねました。

また、奇数月の第2金曜日には、校区社協ボランティア連絡会での案件について事前に協議・検討等の場として、ボランティア代表幹事5名による、校区社協ボランティア幹事会を開催しました。

(6) 各校区社協、校区社協ボランティアの交流及び研修会の開催

1. 校区社協ボランティア研修会・交流会

○研修会（令和6年5月22日） 107名参加

6月から開始するふれあい訪問を前に、社協ボランティアの皆さんに改めて個別の見守り活動の大切さについて考えていただくため、ふくしと教育の実践研究所 SOLA 主宰新崎国広氏を講師に「見守る眼のポイント学習会～これからの地域での見守り活動について～」を開催しました。

○交流会（令和6年7月22日） 144名参加

他校区のボランティアとの意見交換や情報交換を目的とした交流会を開催しました。

「活動内容の情報共有」に留まらず、「ボランティアを続けられる理由」についての意見交換も行い、ボランティア活動の原動力について再確認する機会となりました。

また、ボランティアの高齢化や次世代のボランティア確保が困難であるという共通課題についても確認、市社協として新たな人材確保に向け募集チラシの作成や社協いずみ等での啓発を続けていきます。



2. 校区社協ボランティアスキルアップ研修会

○「石川県志賀町社協から学ぶ平時からの見守り活動の大切さ」（令和7年3月21日） 104名参加

本研修会では、能登半島地震を経験した石川県志賀町社協から、復興に向けての志賀町ボランティアセンターや支え合いセンターの取組みについて講話いただき、社協ボランティアが行ういきい

きサロンやふれあい訪問などの見守り活動や地域のつながり作りが、災害時にはとても意味を成すこと、活動の意義を改めて確認し、和泉市での見守り活動について参加者同士で考える場とすることを目的にスキルアップ研修会を開催しました。



令和6年7月に『災害ボランティアセンター』から『地域支え合いセンター』へ移行しました

志賀町住民自前で、復旧復興を担う『支え合いセンター』では、被災者に寄り添い、個別相談支援やサロン活動などの交流支援を行います。
和泉市には、すでにその活動が市内全域にあることはすばらしい

石川県志賀町社協

3. 大阪府社会福祉協議会主催の小地域ネットワーク活動リーダー研修会への参加

開催日	テーマ	場所	参加者数
令和7年2月13日	地域活動の担い手確保	クレオ大阪中央	12人

(7) いきいきサロン、子育てサロン運営に対する活動支援

1. いきいきサロン・子育てサロン活動ツール作成及び活動支援

サロン活動の企画運営等の負担軽減及び活動の活性化を目的とし、『地域活動おうえん社会資源早見ぶっく』や『かしだしぶっぴんいちらん本』の内容を更新しました。



表紙



内容一例



表紙



内容一例

2. 子育てサロンの活動周知

赤い羽根共同募金を財源に『地域のつながり応援隊 こどものひろば』と書かれたのぼり旗を作成しました。子育てサロンや子ども食堂などに配付し、子どもや子育て世代が安心して集える地域の居場所であることの認知を広めました。

【のぼり旗配付団体数】

子育てサロン	11 団体	子ども食堂	20 団体
--------	-------	-------	-------

(8) 見守り声かけ等、安否確認に対する活動支援

1. 地域でのつながり作りや見守り活動を目指した「みんなのカレンダー2025」の作製

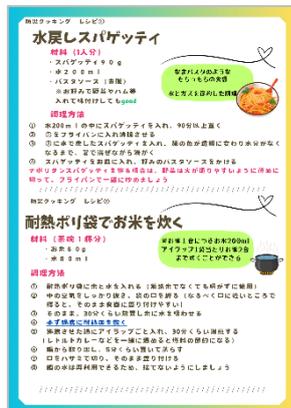
“新たなネットワークの構築及び地域のつながりを更に深める”こと等を目的に、子どもから高齢者、障がいのある方、ボランティアの皆さまにイラストの提供を呼びかけたところ、温かい想いが込められたイラストが約370枚届きました。それらをもとに900部のカレンダーを制作し、校区社協ボランティアによる見守り訪問の対象となる方等にお届けしました。このカレンダーがひとと人をつなぎ笑顔を届ける大切なツールとなりました。このカレンダー制作には一部歳末助け合い募金の寄付金を活用しています。

2. 楽しく学ぶ防災学習の取組

地域での自助力・共助力が向上することを目的に、防災・減災に関する冊子やチラシを作成し、啓発活動を行いました。



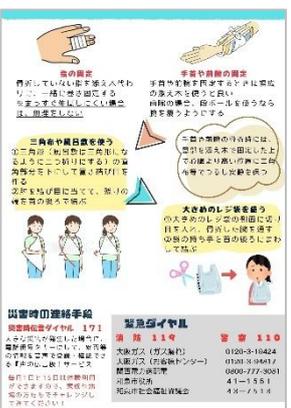
表紙



内容の一例



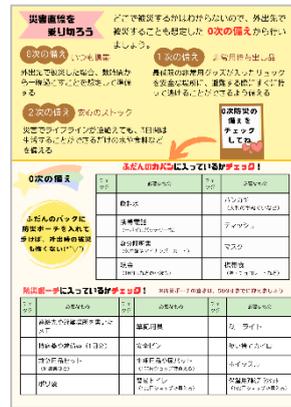
表紙



内容の一例



表紙



内容の一例



ふれあい訪問利用者への啓発や校区内での防災の取り組みに活用いただいています。



[9] 高齢者支援事業

(1) 基幹型地域包括支援センター事業

地域住民の保健・福祉・医療の増進を目的として設置されている市内全域の地域包括支援センターの機能充実を図るため、地域包括支援センター職員に対する助言及び支援や、業務進捗管理、統括、連絡調整を行いました。

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
相談件数	391件	368件	362件
会議・研修件数（主催のみ）	31回	24回	32回

★（２）第1圏域地域包括支援センター事業（富秋・信太中学校区）

保健師等、社会福祉士、主任介護支援専門員の3職種の他、介護支援専門員、生活支援コーディネーター、認知症地域支援推進員を配置し、それら専門職が連携して医療・介護・介護予防・住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される地域包括ケアシステム構築に向けた取り組みを行いました。地域包括支援センターは市内4か所に設置されており、以下の取り組みを中心に行っています。

- ア. 高齢者の総合相談窓口として高齢者や家族から相談を受け、介護保険・福祉・健康・権利擁護等の必要なサービスが受けられるための支援、地域のネットワーク構築
- イ. 介護予防に関心のある高齢者組織や地域団体に対し、自主的な介護予防の場を作り、継続できるようにいきいきいずみ体操の普及や介護予防の啓発
- ウ. 高齢者が参加する地域組織や団体に対し、高齢者の権利擁護（成年後見制度・高齢者虐待防止・消費者被害防止）や各種制度・事業の周知啓発
- エ. 居宅介護支援事業所やサービス事業所、医療介護専門職との支援体制構築と実践力向上のため、連絡会や研修を開催
- オ. 認知症の人及びその家族への相談支援、医療・介護の支援ネットワーク構築、認知症対応力向上のための支援等、認知症に対する支援の充実・強化
- カ. 介護者家族の会の開催

○本会では「富秋・信太中学校区圏域」を担当しています。上記取り組みの活動実績は以下のとおりです。

ア. 総合相談

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	介護保険、介護予防・生活支援、認知症、福祉サービス、医療介護連携など
相談件数	1,339件	1,214件	1,212件	

イ. 介護予防啓発

啓発件数	47か所	いきいきいずみ体操の事業説明、運動状況の確認、実態把握、体力測定、熱中症・（ヒアリング）フレイル予防の講話など
------	------	---

ウ. 権利擁護啓発

（単位：人）

実施日	団体名	参加人数	内容・テーマ
令和6年4月9日	鶴山台北校区老人会鶴寿会	40	消費者被害防止
令和6年11月22日	第1圏域ケアマネ研修会	13	高齢者虐待防止
令和7年2月6日	歌体操愛好会（西上代）	12	消費者被害防止
令和7年2月7日	いきいきサロン楽々会（上代）	17	消費者被害防止
令和7年2月13日	ビレッジ葛の葉いきいきサロン	6	消費者被害防止
令和7年3月18日	鶴山台東いきいきサロン	11	消費者被害防止

エ. 事業所との支援体制構築

実施日	主な議題	参加事業所数
令和6年6月21日	セルフネグレクト	14
令和6年7月26日	服薬、情報交換	14
令和6年9月12日	リスクマネジメント（カスタマーハラスメント）	62
令和6年11月22日	ヤングケアラー	7

オ. 認知症に対する支援の充実・強化

初期集中支援チーム員会議への出席 6回（内、事例提出2件、相談ケース提出2件）
 やさしい事業所への訪問啓発・アンケート配布 17件
 圏域内の認知症サポーター養成講座の開催 1団体
 チームオレンジ立ち上げ支援・結成数 4チーム

カ. 介護者家族の会 「ほっこりきらく会」

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
開催回数（延べ参加者数）	12回（98人）	12回（100人）	10回（68人）



(3) 第1圏域生活支援コーディネーター事業（おたがいさまの地域づくり）

日常生活上のちょっとした支援が必要な高齢者のために、支援ニーズと多様な主体によるサービスのコーディネート機能を担い、生活支援・介護予防サービスを提供するとともに、サービスを提供する事業主体と連携して支援体制の充実・強化を図りました。

生活支援コーディネーターは市内4か所の地域包括支援センター内に配置されており、以下の取り組みを中心に行っています。

ア. 和泉市おたがいさまサポーター事業の運営

※おたがいさまサポーター事業とは、高齢者の見守りを兼ねて、日常生活のちょっとした困りごとを地域住民がサポーターとなり手助けする活動です。ゴミ出し支援や買い物代行支援等の活動を行うとポイントが付き、和泉市の特産品に交換できます。



イ. 地域資源や地域ニーズの把握ならびに資源開発

○本会では富秋・信太中学校区圏域を担当しています。上記取り組みの活動実績は以下のとおりです。

ア. おたがいさまサポーター事業

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
サポーター登録人数	38人	29人	43人
サポーター活動人数	11人	8人	15人
事業利用人数	8人	9人	14人

イ. 地域資源の把握 地図上で各種地域資源を一元化し、閲覧したり、データをもとに地域分析（診断）できるようウェブシステムを導入しました。課題のあるエリアの選定に活用し、現在は隣接する市とも連携しながら対応方法を協働で進めている段階です。

(4) 指定介護予防支援事業（要支援1・2、事業対象者のケアマネジメント）

富秋・信太中学校区において、要支援1・2及び事業対象者の方に対して、利用者本人の出来ることを増やし、地域で生きがいや役割を持ち自立した生活が送れるように介護予防ケアプランの作成および委託先居宅介護支援事業所への介護予防ケアプラン作成への助言を行いました。

(単位：件)

区 分	令和6年度		令和5年度		令和4年度	
	自事業所分	他事業所委託分	自事業所	他事業所	自事業所	他事業所
介護予防支援	947	2,961	950	2,918	899	2,657
介護予防ケアマネジメントA	664	1,743	682	1,705	690	1,724
介護予防ケアマネジメントB	31	—	22	—	12	—
介護予防ケアマネジメントC	18	—	3	—	7	—

※事業対象者とは、介護予防・生活支援サービス事業のみを希望する方で基本チェックリストを用いた簡易な手続きで事業対象者の判定を受け、サービスを利用します。

※介護予防ケアマネジメントAとは、要支援1・2及び事業対象者が訪問介護もしくは通所介護のみを利用した場合のケアプラン作成のことを指します。

※介護予防ケアマネジメントBとは、要支援1・2及び事業対象者が和泉市おたがいさまサポーター事業もしくは行政が実施する訪問型サービスC・通所型サービスC（短期集中予防サービス）を利用した場合の緩和したケアプラン作成のことを指します。

※介護予防ケアマネジメントCとは、要支援1・2及び事業対象者が介護予防・生活支援サービス事業の移動支援サービス（住民主体のサービス等）の利用開始時に緩和したケアプラン作成のことを指します。

★ (5) 要介護認定調査事業

介護保険制度における認定審査に必要な新規・更新の認定申請を、認定調査員（介護支援専門員）が訪問調査を行いました。また、事務受託法人として他法人の模範となるよう、調査員の知識や技術力の研鑽に努めました。

調査件数 (単位：件)

区 分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
新 規	3,514	3,460	3,023
更新・区変	179	1,074	1,396

他市・みなし	273	217	235
合 計	3,966	4,751	4,654

※他市に住民票があり和泉市内の施設や病院に入所・入院している方、またはご家族のところに身を寄せている方の調査分も含まれます。

(6) 居宅介護支援事業

要介護認定において要介護 1～5 の介護給付認定を受けた高齢者及び要支援 1 または 2 の予防給付認定を受けた高齢者に対して、在宅サービスが有効に利用でき、安心して日常生活が営めるよう、介護サービス計画（ケアプラン）の作成や居宅サービス事業者との連絡調整、介護保険施設への紹介等のケアマネジメントサービスを行いました。

また、職員の資質向上のため、毎週の事例検討や毎月の研修といった取り組みも行い、より良いサービス提供につながるよう研鑽に努めました。

ケアプラン作成件数 (単位：件)

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
介護給付	1,204	1,170	1,114
予防給付	214	258	190
合 計	1,418	1,428	1,304

※「予防給付」は和泉市内の地域包括支援センターから受託した予防プランの作成件数を表したものです。

(7) 訪問介護事業（要介護 1～5 の方にヘルパーを派遣）

介護を必要とする高齢者に対して、訪問介護員（ホームヘルパー）を派遣し、自立した生活が営めるよう食事・入浴・排泄等の身体介護や調理・掃除・洗濯等の生活援助のサービスを行いました。

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
サービス利用者数	延べ 385 人	延べ 339 人	延べ 309 人

援助別派遣回数及び時間数

区 分	身体介護	生活援助	身体生活	令和 6 年度 合 計	令和 5 年度 合 計	令和 4 年度 合 計
回 数	1,381 回	2,968 回	991 回	5,340 回	4,307 回	4,378 回
時 間 数	991 時間	2,744 時間	1,134 時間	4,869 時間	4,066 時間	4,226 時間

(8) 介護予防・日常生活支援総合事業における老人居宅介護等事業

介護予防・生活支援サービス事業対象者に対して、居宅に訪問介護員（ホームヘルパー）を派遣し、自立した日常生活が営めるよう、食事、入浴、排泄等の身体介護や調理、洗濯、掃除等の生活援助のサービスを行いました。

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
サービス利用者数	延べ 86 人	延べ 109 人	延べ 69 人

援助別派遣回数及び時間数

区 分	身体介護	生活援助	令和 6 年度合計	令和 5 年度合計	令和 4 年度合計
回 数	46 回	556 回	602 回	808 回	513 回
時 間 数	46 時間	417 時間	463 時間	616 時間	403 時間

(9) 安否確認等に関する事業

- ・いきいきサロン活動

詳細は、「[8] 校区社協活動の推進」をご参照ください

★ふれあい訪問

ご自身に見守りが必要だと感じる方、地域との関わりが薄くなってきている方で、かつ 70 歳以上の方のみの世帯、障がい者の方のみの世帯、70 歳以上と障がい者の方のみの世帯の希望者を対象に、校区社協ボランティアの協力を得て、18 小学校区にて月 1 回～2 回、安否確認を行いました。

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
実施件数	延べ 6,881 件	延べ 8,404 件	延べ 9,110 件
実利用者数 (3 月)	301 人		

- ・誕生月プレゼント訪問事業

80 歳以上のひとり暮らしの方を対象に、社会的孤立の解消を目的として、校区社協ボランティアが社協のマスコットキャラクター“スマイルすいちゃん”のタオルをお届けし、誕生月にお祝い訪問を実施しました。

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
実施件数	3,189 件	3,163 件	2,973 件

- ・ひとり暮らし高齢者の会の支援

「ひとり暮らし高齢者の会」の活動として、会食会を実施しました。

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
実施回数	8 校区 延べ 80 回	7 校区 延べ 75 回	6 校区 延べ 52 回
参加者数	延べ 1,216 人	延べ 1,311 人	延べ 935 人

- ・年末の見守り訪問事業

ご自身に見守りが必要だと感じる方、ご近所との関わりが少なくなっている方で、かつ 80 歳以上の方のみの世帯、障がい者の方のみの世帯、80 歳以上と障がい者の方のみの世帯の希望者を対象に、校区社協ボランティアの協力を得て、令和 6 年 12 月 27 日におせち料理をお届けし、安否確認を行いました。

今年は、福祉教育の授業で関わった信太小学校 3 年生と国府小学校 4 年生の児童からのお手紙も一緒にお届けしました。

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
実施校区数	18校区	18校区	19校区
件数	181件	205件	212件

(10) 車椅子貸与事業

通院や外出のほか、緊急で車いすが必要となった場合に、企業や団体から寄付でいただいた車いすを活用し、一時的な貸し出しサービスを行いました。通院や旅行などでの利用だけでなく、小学校の福祉体験授業にも利用されています。

[10] 障がい者（児）支援事業

★(1) 基幹相談支援センター事業

和泉市の障がい福祉課と連携し、障がい者施策の充実のための機構づくりとして重点的な取り組みを行うため部会を運営し、事業者（事業所）の資質向上や連携強化を目的とした取り組みや、障がいのある人に対して生活上の困りごと、障がい福祉サービスの利用、その他必要な支援についての相談を受け、助言や情報提供、他機関との連携を図ることにより、安心した生活が維持できるよう、また、自立と社会参加の促進につながるよう支援を行いました。

あわせて、相談者が抱える課題が複雑多岐にわたるため、弁護士と連携を図る法律相談を活用し、専門職者が制度や権利の知識やそれらに基づいた支援を行う技術獲得のための機会確保や虐待をうけている、またはその疑いがある障がい者の世帯に解消に向けた介入や軽減、解消支援のために検証と実践といった権利や人権擁護に関する分野についても精力的に取り組みました。

○当事者ならびに事業所への支援実績

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
相談支援件数	3,840件	3,217件	2,932件

○基幹相談支援センター所管会議・部会等実施状況

項目	開催数	主な活動（検討）事項
自立支援協議会	2回	和泉市の障がい施策に関する検討会議（事務局として出席）
推進会議	4回	自立支援協議会への議題検証会議（各部会等活動の報告等）
相談支援部会	13回	計画相談員及び事業所の資質向上、事業所間交流等
就労支援部会	11回	工賃向上、一般就労への実習支援、事業所間連携等
地域移行部会	41回	精神障がい者の生活に関する体制整備、理解促進勉強会等
地域生活支援拠点部会	11回	在宅生活困難時の緊急時受け入れ制度や施設の体制整備等
権利・人権擁護の取組み	5回	法律相談支援、虐待事例検証、研修の実施等
支援の質向上プロジェクトチーム	4回	事業所や支援者の「支援の質」の向上に関する取組み等

※各部会、権利・人権擁護の取組みについては実施主体者兼事務局

・障がい支援区分認定調査事業

障がいのある人が各種障がい福祉サービスを利用するにあたり、本人のさまざまな特性、心身の状態に応じて必要となる支援の度合い（支援に要する時間や程度）を認定するための支援区分認定調査（本調査）や、概況把握を主とした勘案調査（簡易調査）をご自宅、入所先や入院先等に直接訪問し、実施しました。

調査件数

（単位：件）

	新規	更新	令和6年度 合計	令和5年度 合計	令和4年度 合計
区分認定調査	284	468	752	612	555
勘案調査	295	386	681	786	718

（2）障がい者サービス等利用計画作成事業

障害者総合支援法に基づき、障がいのある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、相談支援専門員と契約を行い、相談支援専門員が本人の心身の状況や生活環境等に応じた必要なサービスが提供されるよう、本人の選択に基づき、サービス等利用計画を作成するとともに、利用中の生活状況やプランの評価、見直しを行いました。昨年度に比べ担当者数の増、収入の増に繋がりましたが、収支では支出が先行している課題があります。制度の仕組み上、毎月安定的な収入を得ることは困難で状況ですが、収入予算との間に大きな乖離が生じないように、次年度は、担当者件数の確保について意識をしながら運営を行ってまいります。

サービス等利用計画作成件数

（単位：件）

区分	計画	モニタリング	令和6年度 合計	令和5年度 合計	令和4年度 合計
障がい者	83	223	306	258	270
障がい児	8	17	25	35	17
地域移行	0		0	0	11
合計	91	240	331	293	298

※地域移行とは、精神科病院の長期入院や障がい者入所施設からの退院・退所の支援計画を指し、支援の実施月件数で計上しています。

★（3）障がい者地域活動支援センター事業

地域活動支援センターは、障害者総合支援法における地域生活支援事業として、障がいのある人が、その有する能力や適性に応じ、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、創作活動や生産活動疑似体験プログラムの機会を通じて、関係機関と連携・協力を行いながら相談援助を実施し社会交流の促進を図りました。また、SNSやチラシを用いて、以降に記載しているプログラム等の情報発信を行いました。

実施日数と利用者数

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
実施日数	243日	243日	243日
利用者数	延べ1,879人	延べ2,320人	延べ2,013人

活動内容の一部

○創作活動で制作した作品は、北部総合福祉会館内において随時の展示を行いました。



○北部総合福祉会館のイベントにおける販売体験

昨年度に引き続き、北部総合福祉会館のイベントである敬老のつどい及び会館フェスタにおいて、自立するための就労に向けたきっかけとなるように創作活動で制作したボールペンやキーホルダー等の販売体験を実施しました。



(4) 障がい者福祉サービス等事業

「居宅介護」「重度訪問介護」「同行援護」「移動支援」等を必要とする障がい者(児)に対して訪問介護員(ホームヘルパー)や移動支援従事者(ガイドヘルパー)を派遣し、自立した生活や活発な社会参加ができるよう、食事・入浴・排泄・通院介助等の身体介護や調理・掃除・洗濯等の家事援助、社会参加のための移動支援のサービスを行いました。

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
サービス利用者数	延べ1,295人	延べ1,350人	延べ1,329人

援助別派遣回数及び時間数

区分	身体介護	家事援助	通院介助1	通院介助2	重度訪問介護	移動支援	同行援護
回数	2,880回	2,944回	259回	262回	14回	1,922回	1,845回
時間数	2,039時間	3,328時間	390時間	405時間	14時間	6,061時間	9,206時間

	令和 6 年度合計	令和 5 年度合計	令和 4 年度合計
回数	10,126 回	10,431 回	11,180 回
時間数	21,443 時間	21,395 時間	22,110 時間

※「通院介助 1」は身体介護を伴うもの、「通院介助 2」は身体介護を伴わないもの

★ (5) しゃきょうの☆ハピトレ事業

リハビリを通して、日常生活動作の改善と自立の促進を図ることを目的に、和泉市内の 18 歳までの障がい児及び発達の気掛りな児童を対象に毎週土曜日に実施しています。(※医師の判断で 18 歳以上も 3 年を上限に利用可能。)

訓練内容は、理学療法・作業療法・言語療法・ボディワーク (以下 BW) の 4 種類で、1 回あたり 50 分間の訓練を、訓練士と利用者のマンツーマンで行います。

令和 6 年度は待機者を減らし、利用予約枠を有効活用する事を目的に、訓練の特性上利用枠に余裕のある BW 訓練のみ、利用待機者の中から先行利用を希望する方を 4 名募り、利用枠の有効活用に努めました。

その他にも、利用者と保護者のより良い関わりに資するよう、外部団体主催の「ペアレントトレーニング」や「親子クッキング」などのイベント情報を訓練利用者向けに積極的に発信しました。

	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
実施回数	473 回	537 回	470 回
利用者数	50 人	50 人	47 人
訓練士数	11 名	11 名	10 名

(6) 車椅子貸与事業

詳細は、「[9] 高齢者支援事業」をご参照ください。

[1 1] 児童・子育て支援事業

(1) 子育てサロン活動

詳細は、「[8] 校区社協活動の推進」をご参照ください。

(2) 世代間交流活動

「[3] 社会福祉活動等の啓発及び推進」の「(2) 赤い羽根共同募金運動・地域歳末たすけあい募金運動の推進」に報告していますが、世代間交流のイベント「昔あそびを楽しもう！」を開催しました。

(3) 児童養護施設退所者給付金事業

善意銀行に寄せられた寄付の中から、就職や進学等の理由により、児童養護施設を退所する児童に対し、1 人 3 万円の祝い金を 3 人に給付しました。[2] 組織体制の強化と財源の確保もご参照ください。

(4) 地域の資源をより充実させるための取組

1. 地域福祉総合相談員事業

地域福祉総合相談員（以下、「CSW」という。）は、年齢や障がいに関係なく、すべての人が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように地域の皆さんと共に考え、地域の専門機関と連携しながら、問題の解決に取り組んでいます。なお、本会では富秋中学校校区圏域が担当となります。

○相談実数(富秋中学校区)

(単位：件)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
未就学	0	0	0
小学生	3	1	1
中学生	0	1	1
10代後半（中学卒業以上）	0	2	1
20代	6	1	3
30代	2	5	6
40代	7	6	9
50代	13	5	8
60代	7	6	8
70代	11	4	8
80代以上	6	2	1
不明	4	3	7
合計	59	36	53

○内容別相談件数（重複あり）

(単位：件)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
福祉制度・サービス	16	17	23
生活全般	21	20	8
健康・医療	7	8	18
生活費	14	9	14
就労	9	5	12
財産管理・権利擁護	0	0	3
消費者被害	1	2	0
多重債務	8	4	3
DV・虐待	1	1	2
地域福祉・ボランティア活動	0	0	2
住宅	0	1	1
子育て・子どもの教育	6	3	2
その他	25	20	30
合計	108	90	118

※その他…ひきこもり、人間関係のトラブル、将来の不安などについての相談

○個別支援活動

20代の引きこもりに関するケース対応が多くありました。支援側からの一方的なアプローチを行うという関わりではなく、本人の想いや能力の範囲に即し、地域による協同を得て課題解決に繋げる方法（増進型地域福祉）や客観的な評価や分析の重要性、対話による意思決定を大切にすることを学び、課題背景や支援方法についても思考を膨らませながら活動に取り組みました。支援が終結したケースの中には地域活動へつなぎ、活動の中で見守りが出来ているケースもあります。

支援に対する個別プランも積極的に作成し、支援調整会議も有効に活用しました。

★○地域活動への参画及びCSW事業に関する周知活動

富秋中学校生徒対象、もりもりカレー・西教寺てらこやハッピー(地域の小・中学校)・池上子ども食堂わいわいなどに定期的に参加した。今年度は新たにCSW全体の取組みで、和泉総合高校定時制教員向けの研修会を実施し、CSWの活動について理解を得ることができました。支援コーディネーター先生主催のお料理部にも参加し、生徒と関わる時間を共有できたことで会話の中から課題に気付く場面も多くありました。CSW周知活動については、若者向けチラシの作成を和泉市役所担当課と行い、必要な生徒への配付と卒業する3年生にチラシを配付し継続的なつながりがあることへの働きかけを行いました。その後、和泉総合高校の定時制生徒が、てらこやハッピーでの地域活動を開始し始めています。

活動の中で、生徒や先生との関係を構築できた一方で小・中学校との連携までには至らず、子どもの状況把握は地域活動への参加状況の把握が中心となりました。

地域活動でのCSW事業に関する周知については、継続的に地域活動に参加したことで顔の見える関係は少しずつ構築できてきており、地域での新しい活動に対してもキャッチできる機会が増えてきているため、次年度は、その部分を活かして積極的に進めていきます。

2. 子ども食堂等の子どもの居場所作りへの支援

○子どもの居場所交流会への参加

和泉市で行われている子どもの居場所交流会へ出席し、子ども食堂の活動状況や課題、今後の方向性について把握するとともに、本会として、連携や支援の形を検討してきました。

子ども食堂等の団体や子育てサロンが地域の子どもたちにとって安心して過ごせる居場所であるとの認知を広めるために赤い羽根共同募金を財源とし、共通するのぼり旗を作成し配布を開始しています。

○子ども食堂等への食料品等の支援

和泉市の子ども食堂のネットワークを活用し、和泉市で活動する子ども食堂等へ企業や地域から善意銀行へ寄せられた米等の食料品等の情報提供を行い、必要とされている団体へ、皆様からの善意のお気持ちと共に、おつなぎしました。

[12] 要援護者を支える相談事業の推進

(1) ひきこもり等で社会参加が出来ていない人への支援（富秋中学校区）

○社会的居場所づくりプロジェクト「とまり木会」を実施

和泉市CSW現任者部会では、平成25年度から社会的に孤立している方や社会との接点が少ない方を対象に、「社会的居場所づくりプロジェクト」を行ってきました。「人との関わり」や「社会との関わり

り」ができるきっかけをつくり、自身の能力を発揮出来る居場所に向けて進んでいくための取り組みとして季節に応じた行事を開催し、外出への動機付けを継続的に行ってきました。

それにより、社会的孤立にある対象者が社会参加できるようになってきた効果がある一方、専門職以外の支援者確保が進まないこと、地域資源を用いた活動展開に繋がっていないこと、次へのステップとしての暫定的な居場所の役割ではなくそこが定住地になる傾向が見られてきたことなどの課題が浮かび上がってきました。

現状の取り組みをこのまま進めても、成果が良好に向かう見通しが立たないという見解に至り、和泉市役所担当課との協議のうえ令和6年度を以て、この取り組みを終えることとなりました。ただし、これで社会参加促進の取り組み自体を終了させるということではなく、新たな関わり方、支援の進め方については引き続き検証を行っていくこととなっています。

★(2) 生活福祉資金、総合支援資金等の貸付、フォローアップ支援

低所得者、障がい者または高齢者の世帯に対し、資金の貸付について必要な相談支援を行い、経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進に向けての支援を行いました。

また、コロナ禍による収入減少世帯を対象に貸付を行った、コロナ特例貸付資金の借受世帯に対し、フォローアップ支援も実施しました。(実際の貸付主体は大阪府社会福祉協議会。下記は決定額です。)

○生活福祉資金貸付状況

資金名	申込件数	決定件数	金額
福祉(転宅・必需品他)資金	22件	22件	6,560,000円
教育支援資金	33件	33件	22,433,000円
緊急小口資金	21件	19件	1,778,000円
総合支援資金	0件	0件	0円
合計	76件	74件	30,771,000円

合計(令和5年度)	92	85	28,861,000円
合計(令和4年度)	109	94	40,388,000円

○コロナ特例貸付資金フォローアップ支援状況 (単位:件)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
償還等相談件数	545	525	—
フォローアップ支援実績数	122	28	—

(3) 心配ごと相談事業の運営

地域で活躍するボランティアが「心配ごと相談員」となり、日常生活の心配ごとや悩み事についての相談を受け付けています。

1. 相談件数

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
相談件数	29件	34件	17件

2. 心配ごと相談意見交換会

実施日	令和6年6月11日、10月8日、令和7年3月11日
-----	---------------------------

相談事例を振り返り、相談員同士で対応方法等についての検討や情報共有を行いました。

近年、『発達障がいに関すること』が相談内容として増えていることから、株式会社とごころ 藤原太郎氏を講師に発達障がいについての学習会を10月に開催しました。

(4) 日常生活自立支援事業

認知症や知的障がい・精神障がい等により、判断能力が不十分な方の自立生活を支援するため、福祉サービス利用援助、日常の金銭管理、財産保全等のサービス提供を行いました。現代の家族の在り方、生活様式の変容により家族支援が脆弱になり、当該事業へのニーズは年々高まっていますが、配置人員等の都合により支援が行き届かない現状があり多くの待機者を抱えています。最短でも2年近くの待機が見込まれることから、オプションサービスとなる金銭や財産管理を希望される方について、当該事業ではない制度利用の方が適切な支援を受けられると考えられる場合は、そちらを案内するなど現在の待機者の状態像を改めて確認し、長期待機者の減少に繋がるよう対応を進めました。

(単位：件)

項目	件数	内 訳	令和5年度	令和4年度
		(認知症高齢者) (知的障がい者) (精神障がい者)		
継続契約	68	9 27 32	65	71
内新規契約	16	4 4 8	7	11
内途中解約	13	成年後見制度への移行による解約等	13	10
相 談	735	電話相談等	643	1,118
契約前相談	77	契約前に対象者を訪問し相談	28	83
契約後活動	1,899	契約後に対象者を支援	2,101	2,253

★ (5) 成年後見中核機関運営事業

- ・いずみ成年後見人サポートセンター

令和6年10月から、和泉市が設置した中核機関における、市民・親族後見人等分野の支援窓口機関として市社協内に新たに設けられ、成年後見制度に関する市民の理解や活用促進に向けた周知活動や研修会の開催、市民後見人の養成ならびに親族または市民で成年後見人等として活躍されている方に向けたサポート体制整備を行いました。また、中核機関の全体的な方針や取り組みについての関係機関会議の事務局を担いました。

項目	開催回数	備 考
協議会（方針会議）	1回	※通年は2回開催
運営会議（推進会議）	2回	※通年は4回開催
専門相談（親族後見人向け相談会）	3回	※通年は毎月1回、年間12回開催
市民後見人養成講座	基礎：4回 実務：5回 全9回	※運営主体は大阪府社会福祉協議会 令和6年度は4人が受講し2人が修了 令和7年度における和泉市の市民後見人バンク登録者

		は2人を予定
研修会の開催	1回	テーマ「地域連携ネットワークにおける意思決定支援」 主な対象者：相談業務以外を担う福祉サービス従事者

※当該事業が協議会、運営会議、専門相談については6か月間の運営であり、関係者間での調整が必要であったため、実績が通年開催の半数以下となっています。

[13] 災害時に備えた取り組みの推進

(1) 福祉避難所の設置・運営や訓練に関すること

福祉避難所部会として、福祉避難所の開設訓練（総合福祉会館・北部総合福祉会館）において法人内職員参加の訓練を実施しました。あわせて、次回に向け改善を図るため、開設訓練実施後に参加者アンケートを行いました。

★(2) 企業ならびに関係団体とのネットワーク構築及び災害ボランティアセンターの設置・運営や訓練に関すること

本年度から、企業等との連携を重視することで災害ボランティアセンター機能をより高めていこうという構想に基づき、災害ボランティアセンター運営部会と企業等ネットワーク構築部会を統合し、“災害ボランティアセンター協働部会”として再編成を行いました。

災害ボランティアセンター部門では、外部協力者が使いやすいマニュアルへの改訂と設置・運営訓練の実施、企業等ネットワーク構築部門では、ネットワーク会議の開催を行いました。その他、大阪府社会福祉協議会主催の広域連携を図るためのシミュレーション訓練にも泉州ブロックの一員として参画を行いました。

実施日	項目	備考
令和6年6月25日	第1回災害ボランティアセンター協働ネットワーク会議	★会議体設置趣旨説明 出席者顔合わせ、団体照会 会場：北部総合福祉会館
令和7年2月5日	災害ボランティアセンター開設シミュレーション訓練（泉州ブロックメンバーとして参加）	★ICTを活用した府内連携シ 訓練 主催：大阪府社会福祉協議会 会場：岸和田市社会福祉協議会
令和7年2月27日	第2回災害ボランティアセンター協働ネットワーク会議	★和泉市社会福祉協議会での活 動報告、グループワークなど 会場：北部総合福祉会館
令和7年3月21日	災害ボランティアセンター設置・運営訓練	★被災者、支援者体験 会場：エコール・いずみ アムゼ 広場



(3) 災害時の対応における、法人内の体制整備に関すること

法人・各課各係災害時行動部会として、「災害時対応マニュアル」や「災害時の事業継続計画（和泉市社協BCP）」の見直しを進めました。

★(4) 地域住民への防災、減災ならびに被災後の対応に関する啓発活動

[8] 校区社協活動の推進(6)の2. 校区社協ボランティアスキルアップ研修会として開催しました。

(5) 能登半島地震で被災した社会福祉協議会への支援活動

○石川県七尾市災害ボランティアセンターへの職員派遣

近畿ブロック社協からの応援の一環として(4月5日～11日)

○石川県七尾市テント村への職員等派遣

岡山県総社市を中心に、6市が協力して設置した、災害ボランティア受け入れのためのテント村に4月から5月にかけて職員等のべ6名を派遣し、テント村の運営にあたりました。



○石川県輪島市への災害支援ボランティアバス運行について

令和6年12月3日～4日、泉大津市社協・高石市社協・忠岡町社協及び本会の3市1町の社協が共同で「石川県輪島市災害たすけあいセンター」へボランティアバスを運行し、家屋の床下等から撤去した土砂の運搬を行いました。

また、同日程で、本会所有の軽トラックを輪島市災害ボランティアセンターに貸し出しました。



[14] ボランティア・市民活動の推進

(1) ボランティア・市民活動啓発

ボランティア・市民活動に関する相談をはじめ、市民が気軽にボランティアに参加できる環境づくりを行うとともに、和泉ボランティア・市民活動センター「アイ・あいロビー」では、地域に根ざした活動が推進できるよう、次の事業を実施しました。

1. 講座・交流・広報活動

ア. 講座・研修等の開催

(単位：人)

実施日	内容	参加者数
毎月1回(7回開催)	アイ・あいロビー教室	延べ142
毎月1回(9回開催)	普通救命講習会	延べ34
毎月1回(12回開催)	シニアのためのスマホ相談会	131
令和6年5月28日	ボランティア・アドバイザー養成講座	4
令和6年6月8日	NPO・市民活動支援講座	20
令和6年8月21日	夏休み親子福祉体験講座	28
令和6年9月18日	ボランティア・市民活動入門講座	27
令和6年9月28日	災害ボランティア養成講座	30
令和6年10月8日 令和6年10月22日 令和6年10月29日 令和6年12月3日 令和6年12月10日 令和6年12月24日	シニアスマホサポーター養成講座	各22
令和7年2月21日	ボランティア・市民活動ステップアップ講座	44
令和7年3月30日	視察・研修会(植村牧場)	17

イ. 他市、他機関との交流・協働等

(単位：人)

実施日	内容	参加者数
毎月1回(12回開催)	おしゃべりカフェ(市民ラウンドテーブル)	91
令和6年9月7日	ボランティア・市民活動交流サロン	80
令和6年5月25日 令和6年12月14日	子育て世代応援「ももやまキッズランド」	延べ393
令和7年3月11日	ボランティア・市民活動情報交換会	40
令和7年3月14日	想いを伝える発表会(旧アイデアコンテスト)	16組





夏休み親子ふれあい日帰りキャンプ、ももやまキッズランド等、学生ボランティアの積極的な参加を促進

2. イベントの開催

(単位：人)

実施日	内容	参加者数
令和6年8月3日	夏休み親子ふれあい日帰りキャンプ	89
令和6年10月26日	和泉ボランティア・市民活動フェスタ 2024	800



ボランティアさんの日頃の活動の発表の場、世代間交流や出会いの場として市民参加型の大型イベント和泉ボランティア・市民活動フェスタ 2024 開催

★ (2) 広報活動

○情報誌の発行、ホームページ等の運用

令和6年度より公式LINEからのメッセージ配信制限を拡張することができ、講座やイベントの開催情報や活動報告などをタイムリーに発信できるようになりました。今後もSNS等を有効活用し、広報活動を行い、新たなボランティア活動者の獲得に力を入れます。

内容	摘要
情報紙「アイ・あいロビーニュース」の発行	年4回
広報紙「社協いずみ」「広報いずみ」に掲載	随時
ホームページ、SNSによる情報提供	随時更新
ボランティア・市民活動紹介誌の発行（追報版）	600部

(3) 各種相談、調整

1. ボランティア・市民活動登録の受付、コーディネート等
ア. ボランティア・市民活動登録者数

		令和6年度	令和5年度	令和4年度
ボランティア登録者	個人	86人	90人	88人
	団体	94団体	100団体	99団体
市民活動登録者	市民活動団体	31団体	27団体	31団体

イ. ボランティア依頼件数

(単位:件)

依頼内訳	令和6年度		令和5年度		令和4年度	
	依頼件数	成立件数	依頼件数	成立件数	依頼件数	成立件数
個人	4	2	7	4	7	4
施設	19	9	16	12	8	5
イベント	102	94	102	93	96	80
学校・行政機関	19	19	19	19	19	19
合計	144	124	144	128	130	108

ウ. ボランティア体験プログラム (大阪府社会福祉協議会共催)

本来、福祉施設や保育園等の協力を得て、ボランティアを身近に体験してもらうためのプログラムですが、コロナ禍の影響でまだ施設の受け入れが難しいため、今年は「アイ・あいロビー」が受け入れ施設となって初めての方が体験しやすいプログラムを提供しました(9プログラム延べ64名参加)。

2. NPO法人に関する設立及び簿記の運営相談等窓口の設置

専門家による相談対応、他機関との連携や情報交換等

ア. 相談

相談内容	開催状況	相談件数
税理士によるNPO法人のための会計相談	3~5月(第4水曜日)	2件
NPO法人設立・運営相談	随時	0件
市民活動推進支援事業申込に関する相談	9/2~9/30受付	0件

イ. 支援

支援内容	支援状況	支援件数
市民活動おたすけ隊	チラシ、案内状、帳票作成等	17件
登録団体応援プロジェクト	広報、受付、貸室支援等	6件

(4) ボランティア・市民活動センターの運営管理

ボランティア・市民活動の拠点として、会議室、機材、備品の貸し出し、ボランティア保険の加入促進

1. 組織・運営

ア. 運営推進協議会（令和6年6月4日、令和7年2月25日）

イ. 運営委員会（毎月1回 第2月曜日）

ウ. 専門部会（単位：回）

部 会 名	開催数
情報収集・提供	15
啓発・学習提供	12
交流促進・ネットワーク	10
協働推進	12
センター管理・アドバイザー	12

エ. ボランティア・アドバイザーの配置

ボランティアの需給調整や活動の推進を行うため、毎日3人のボランティア・アドバイザーを配置し、月1回アドバイザーの連絡会を設け、情報交換等を行いました。

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
登録アドバイザー数	21人	22人	23人

2. 施設利用状況

（単位：件）

		令和6年度	令和5年度	令和4年度
施設利用状況	会議室	722	752	645
	印刷機器利用	534	662	652
	備品貸し出し	63	67	58
	Wi-Fi（無線LAN）利用	56	57	58

3. ボランティア保険の加入数

（単位：件）

保険の種類	件数
ボランティア活動保険	253
ボランティア・市民活動行事保険	502
移送中事故傷害保険	10
非営利・有償活動団体保険	17

[15] 総合福祉会館及び北部総合福祉会館の管理運営

【総合福祉会館管理運営事業】

高齢者や障がい者（児）が生きがいを持ち、健康で自立した生活ができるよう各種事業の充実に努めるとともに、理学療法士による機能訓練等を実施する等、地域福祉を推進する拠点施設として機能の充実に図りました。

会館利用者数

(単位：人)

区分	高齢者	障がい者 (児)	ボランティア	その他(一般)	令和6年度合計	
計	53,100	1,979	1,376	6,230	62,685	
事業別内容	各種講座等	11,516	741	3	615	12,875
	入浴事業	3,321	0	-	-	3,321
	ヘルストロン	15,998	-	-	-	15,998
	機能訓練事業	-	296	-	-	296
	整形外科検診	-	75	-	-	75
	貸館等自主活動	20,979	726	1,249	3,975	26,929
	イベント等	508	0	50	1,221	1,779
	社協自主事業	778	141	74	419	1,412

令和5年度合計	令和4年度合計
58,962	47,510

●会館事業

会館フェスタ 2024 in 総福

貸館団体とボランティア団体の発表の場として11月9日～11月15日まで「会館フェスタ 2024 in 総福」を、福社会館主催の教室の発表の場として令和7年2月1日～7日に『卒業フェスタ 2024 in 総福』を開催しました。

11月開催の『会館フェスタ』では、舞台発表や展示で沢山の方にご来館頂きました。『昭和歌謡と一緒に楽しむ音楽体操』、『みんなで唄おう♪いずみ・歌の広場』、『笑泉会による落語出前寄席』、『桃山学院大学生によるスマホ個別相談会』『点字体験会』などのイベントも行われ、大盛況となりました。

また、2月開催の『卒業フェスタ』では各講座の発表や作品展示と同時に、講座体験ができるイベントとして、『健康体操教室体験』『太極拳教室体験』『ハンドマッサージ体験』、『俳句教室体験』、『水彩画教室体験』、『キルトとお花の手芸教室体験』等を開催し、講座内容をイメージしていただくことができ、受講生の獲得、新規の利用者の獲得につなげることができました。多くの方のご来館があり、みなさん楽しんでおられました。

おしゃべり広場

誰もが気軽に参加でき、会館利用者同士で新たなつながり、仲間づくりの場として、令和6年度は計6回、会館の貸館団体の方や、しゃきょう元気隊、年輪大学院生の協力の上、おしゃべりひろばを開催しました。

ものづくりや合唱、体操、ハーモニカ演奏、ハンドマッサージなどの様々なレクリエーションを行い、参加者同士もお互いに分からないところを教えあう等、仲良く楽しんでおられました。



あつまれ！しゅくだいの森 in 総福

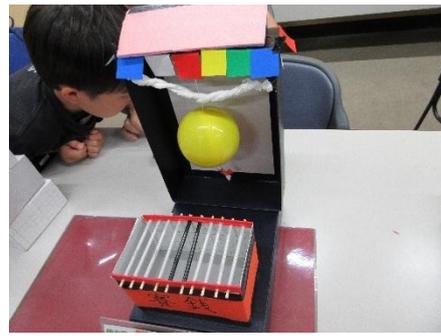
地域の小学生を対象に、会館利用者の高齢者、ボランティアの方と一緒に夏休みの宿題をすることで、世代間交流を楽しみ、夏休みの思い出になればと思い、「あつまれ！しゅくだいの森 in 総福」を開催しました。絵、工作、書道の3科目を行い、子ども達もアドバイスを受けながら、自身の作品作りに集中していました。来年もやってほしいとの声も多くいただくことが出来ました。

また、このイベントには年輪大学院生もボランティア実習の為に参加し、ボランティアの先輩方と一緒に子ども達と交流しました。慣れないボランティア活動ですが、楽しみながら一生懸命取り組んでおられました。

(絵画編)



(工作編)



(書道編)



年輪大学

令和6年度の年輪大学は、27名の方が修了されました。カリキュラムでは序盤に外出する講座を多く入れることで、仲間づくりをよりスムーズに行っていただけるよう工夫をしたり、毎回の講座に当番制の日直を設けたりして、より自主的に年輪大学の運営に携わっていただきました。

その甲斐もあり、皆さんとても仲良くなられたようで、協力して課題に取り組んでいただく講座「地元自慢を再発見」や「年輪大学祭」では、全員で取り組み、自分たちで考えた劇や出し物で大いに楽しんでおられました。

年輪大学院

年輪大学院は年輪大学で学んだ知識や経験を活かし、専門的な学習を通して、地域で活動できる人材の育成を目指して開講しており、令和6年度は21名の方が修了されました。

座学で学んだ知識を実践するため、「チャレンジボランティア」で様々なボランティアを体験した後、1年間の集大成として、「ボランティア企画」で大学院生自らボランティアを企画し、実践していただきました。そして今後も、修了生全員でボランティア団体を立ち上げられ、年輪大学院で学んだ知識と経験と院生同士のつながりを生かし、「つながりを大切にする」をモットーに地域福祉の担い手として活動を

継続されます。

高齢者教養講座

令和6年度は多くの講座が定員を超える募集があり、多くの方に1年間楽しんで頂きました。

また、令和7年2月には、受講生の皆さんの1年の活動成果を発表する場として「卒業フェスタ 2024 in 総福」を開催し、舞台発表や作品展示、体験講座イベントを行いました。

体験できる講座が多くあった事と、次年度の講座募集期間に開催したこともあり、「楽しかったから是非来年参加したい」と、お越しいただいた多くの方が、その場で次年度の講座に応募しておられました。

障がい者教養講座

障がい者創作活動教室では、陶芸(2教室)、手編、絵画、書道の5教室を開催しています。

今年もものづくりを通して、教室生同士の交流と生きがいをつくられていました。

(絵画教室)



(書道教室)



野外活動(今井町散策・樫原神宮・藤原宮跡見学)

普段顔を合わすことのない他の教室生と交流をもってもらえるよう、例年野外活動を行っています。野外活動を楽しみにしていらっしゃる方が多く、気心の知れた人たちと、おしゃべりや、お買い物など交流をしながら1日楽しく過ごされました。きれいな景色や街並みを楽しく見学しました。



いずみきらめき作品展に作品展示

障がい者の方を対象に作品を展示するきらめき作品展に、創作活動教室の5教室が作品を展示しました。今回からは、美術館ではなく、「市役所ロビー」「コミュニティセンター」「総合福祉会館ロビー」の3か所で作品展示を行いました。会館フェスタとは違った雰囲気、広く一般の方に作品を見て頂ける機

会になり、作品を見た来館者の方も「すごく上手な作品が多いね。良かったよ。」と大好評でした。



絵画教室 大阪信用金庫和泉支店にて「さちぶくろ」とコラボ展

今年で3回目となる大阪信用金庫での展示会に、9月9日～27日の期間、障がい者の絵画教室の皆さんが参加されました。また、世界にひとつだけの紙袋「さちぶくろ」とのコラボで、展示された絵を使った紙袋を制作して同時に展示していただきました。

絵を描かれた方からは、「沢山の方に作品を見て頂けるきっかけになって嬉しい」との声があり、とても楽しい企画でした。



【北部総合福祉会館管理運営事業】

高齢者や障がい者（児）が生きがいを持ち、健康で自立した生活ができるよう各種事業の充実に努めるとともに、新たな分野の講座を実施する等、地域福祉を推進する拠点施設として機能の充実に努めました。

会館利用者数

(単位：人)

区 分		高齢者	障がい者(児)	ボランティア	その他(一般)	令和6年度合計
計		43,759	3,004	558	6,317	53,638
事業別内容	各種講座等	5,490	346	302	612	6,750
	入浴事業	4,240	-	-	-	4,240
	機能訓練事業	-	1	-	-	1
	整形外科検診	-	0	-	-	0
	貸館等自主活動	33,057	2,615	256	5,625	41,553
	イベント(会館まつり等)	972	42	0	80	1,094

令和5年度合計	令和4年度合計
53,862	54,749

●会館事業

高齢者教養講座

教養の向上、健康の増進、生きがいづくりや仲間づくりの場として、地域社会でのコミュニケーションの輪を広げていただけるように市内在住の60歳以上の方を対象として以下の講座を開催しました。

講座名	申込者数	定員	参加者数	年間講座
太極拳	36名	20名	20名	1年間
書道	12名	9名	9名	1年間
フラダンス	17名	15名	15名	1年間
ヨガ 前期	46名	20名	20名	半年間
ヨガ 後期	30名	20名	20名	半年間
識字	11名	10名	11名	1年間
折り紙	1回目 12名 2回目 11名 3回目 14名 4回目 8名	各回 15名	1回目 12名 2回目 11名 3回目 14名 4回目 8名	単発講座
貼り絵	1回目 19名 2回目 11名 3回目 16名	1～2回目 10名 3回目 20名	1回目 10名 2回目 11名 3回目 16名	単発講座
編み物	1回目 8名 2回目 7名 3回目 15名	各回 10名	1回目 8名 2回目 7名 3回目 10名	単発講座
音楽体操	49名	20名	20名	半年間
榎尾山幟上げ音頭	6名	20名	6名	4回シリーズ
泉州お伊勢音頭	7名	10名	7名	半年間
よさこい	32名	20名	20名	半年間
創作教室(盆栽)	31名	10名	10名	単発講座
手話 前期	18名	15名程度	18名	半年間
手話 後期	14名		14名	半年間
点字講習会	0名	4名	0名	半年間
健康体操	150名	各組 35名	140名	1年間
高齢カラオケ		毎週月曜日	各回 20～25名前後	1年間
健康美容	体験会 32名 1回目 20名 2回目 14名	30名 10名 10名	30名 10名 10名	単発講座(体験会) 6回シリーズ
はじめての大正琴	9名	7名	7名	1年間
シニアのためのスマホ相談会	10名	10名	10名	単発講座

どの講座(教室)も人気があり、ほぼ定員を上回る申し込みがあります。また、昨年度よりさらに男性参加者も増加しており、引き続き人生における第2の活躍の場を探している方のニーズにマッチングするように今後も興味を持ってもらえる講座(教室)の展開を検討していきます。

令和6年度は新たに「健康美容教室」(写真①)を開講しました。健康美容教室は、体験会及び6回シリーズの講座2回とも募集人数を大きく超える応募がありました。講座内容も好評で、受講者の方の満足度がとても高く大人気の講座になりました。

また、情報弱者になりがちな高齢者が簡単に情報を取得できるようになることを目的に「シニアのためのスマホ相談会」(写真②)を開催しました。スマホに慣れていない高齢者の方が操作方法を学ぶとともに、LINEを使えるようになることで、市からの情報を素早く入手していただけるような講座にしました。

なお、この相談会では、アイ・あいロビーの「シニアスマホサポーター養成講座」の卒業生の方が対応していただきました。

①



②



障がい者教養講座

創作活動を通して、社会参加の促進や新たな創造性の発見を図り、社会性の向上を目指して講座を開催しました。令和5年度に新規実施したもののうち、参加された方の興味が高かった教室は令和6年度でも、継続して開催しました。

また、昨年度に引き続き高齢者教養講座の中には、障がい者教養講座も含まれており、一緒に教養講座を受講し、共通の話題で楽しく参加していただいております。

敬老のつどい

日頃、北部総合福祉会館をご利用いただいているサークル活動の発表の場として、敬老のつどいを9月13日・14日に実施しました。

敬老の日ということもあり、昨年度に引き続き近隣の幼稚園・保育園の園児からもお祝いの発表をいただきました。



会館フェスタ

北部総合福祉会館が主催となり実施した半年または1年間の講座における成果の発表の場として会館フェスタを3月7日・8日に実施しました。また、今年度は株式会社ヤクルト協力のもと、「おなかの健康」をテーマに健康にまつわる出前講座を実施いただきました。



日帰り野外研修（障がい者（児）向け）

12月14日に市内在住の障がいのある方を対象とした日帰り野外研修を企画・実施しました。『淡路市における伝統文化と自然を体験する』をテーマに、パルシェ香りの館にてお香づくり体験とその歴史や自然に触れ、淡路ハイウェイオアシスで昼食をとり、その後、神戸海洋博物館で重工業の体験や展示物の見学をし、前回の日帰り野外研修に続く神戸の歴史や文化についても触れました。自分で一から材料を練り、形作るという工程をとおして「いろいろな形を作れて楽しい」や「意外とこねるのが難しいな」などの声があがっており貴重な体験の機会を提供することができました。



令和6年度に実施した主な講座

絵画教室（障がい者（児）向け）

令和6年度は「ティッシュカバーの角を描こう」というテーマで木製のティッシュカバーの角を中心に、自分のイラストを筆で色付けしていくことで、世界に1つしかないティッシュカバーを作成しました。



石けんづくり教室（障がい者（児）向け）

日常生活で使用する石けんをドーナツやアイスキャンディなどいろいろな形に制作しました。参加者の方は出来上がりを想像しながら、色とりどりの材料を混ぜながらオリジナルの石けんを制作されていました。



●自主事業

未来のための健康プロジェクト

平均寿命が年々延び、人生 100 年時代と呼ばれる中で、高齢者の方がどのようにして健康に過ごせば良いかを知っていただくとともに、毎日の食事が体の内外に及ぼす影響と栄養バランスの重要性について考えていただくことを目的とし、昨年度に引き続き明治安田生命保険相互会社の協賛のもと開催しました。

	内容	参加人数
第 1 弾	止められる老化のポイント	26 人
第 2 弾	不足している栄養素を知る	22 人



防災講座（参加者数 22 人）

災害発生時にどのような行動をとれば良いのか、事前にどのような準備をしておけば良いのかを全国各地で講演活動をされている防災士から学び、いざという時に自身を守る防災意識を高めることを目的として開催しました。

災害の多い昨今・・・まずは自分の命を守るための行動と備えを考え、今日からできることを「何かひとつ」やってみませんか？をテーマに、自宅や外出先でできる、ちょっとした「できる・やれる・知っている」を増やすことで、何が必要で、何が危険かを知り、近くにいる人達と一緒にできることを学びました。

今後も継続して市民の防災意識を高めることを目的に、年 1 回防災についての講座を開催していきます。



交通安全講座（参加者数 13 人）

令和 6 年 3 月に、「自転車にも反則金制度を導入する」という道路交通法の改正案が閣議決定されたこ

とから、法の施行までに自転車乗車時の走行ルールを再認識することや交通事故防止の啓発活動を目的として、和泉警察署にご協力いただき開催しました。

レザークラフト教室 (参加者数 30 人)

和泉総合高等学校 (以下：和泉総合高校) との連携事業講座として、新たに革の小物入れやキーホルダーを作成する「はじめてのレザークラフト教室」を開催。講師である和泉総合高校の先生が、講座を通して手作業の楽しさを教えてくださいました。

また、現役の和泉総合高校の生徒さんが講師の補助をしてくださったことにより、普段あまり接点のない地域の方と交流する機会を設けることができました。



[16] 福祉団体への支援

和泉市老人クラブ連合会・和泉市身体障がい者福祉会・和泉市手をつなぐ親の会・和泉市母子福祉会・和泉地区保護司会・和泉市更生保護女性会・和泉BBS会への活動に関する側面的支援を行いました。

(各団体の取り組みの一例)

【社会を明るくする運動】

社会を明るくする運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする運動です。

7月が啓発強化月間であることから、和泉地区保護司会・和泉市更生保護女性会・和泉BBS会により、7月1日に和泉府中駅前や他駅前街頭啓発運動を実施し、7月6日には中心事業である推進大会を実施しました。

推進大会は、株式会社やまつ屋の代表取締役でご自身も保護司の活動をされている、山本 秀明氏による「協力雇用主とは・・・」の講演会が行われ、190名の参加者がありました。また、町会連合会のご協力で市内各所の掲示板等で社会を明るくする運動を多くの市民に周知されました。



【ひとり親家庭の夏休み宿題教室】

和泉市母子福祉会の活性化と新規会員の確保、夏休みのひとり親家庭への支援を目的に、8月18日に和泉シティプラザにて、市内在住のひとり親家庭の小学生を対象とした「夏休み工作教室」及び、その保護者の方同士の交流や心身のリフレッシュを目的に、子どもとは別のお部屋で「ママのためのボディクリームづくり」を開催しました。保護者と子ども総勢17名の参加でした。

【シニアグランドゴルフ大会】

和泉市老人クラブ連合会との共催にてシニアグランドゴルフ大会を5月16日に光明池緑地運動場にて開催しました。新緑まぶしい中、310名の参加者が競技を楽しみました。

【シニアペタンク大会】

和泉市老人クラブ連合会との共催にてシニアペタンク大会を10月24日に光明池緑地運動場にて開催しました。さわやかな秋晴れの中、40チーム120名の参加者が競技を楽しみました。

【「笑い与健康」講演会】

2月9日に「笑い与健康」講演会が和泉シティプラザ弥生の風ホールにて開催されました。今年度は笑福亭學光氏を講師にお招きし、「目で聴く落語」～聞こえない人も聞こえにくい人も楽しんで～と題し、AI音声認識機能を使用したとても有意義で楽しい講演会でした。



一般会計決算書

令和6年度 社会福祉法人和泉市社会福祉協議会事業別決算額

(単位:円)

拠点 サービス区分	収入額 (A)	支出額 (B)	収支 (C)	前期末 支払資金残高 (D)	支払資金 残高調整 (補正額) (E)	前期末 支払資金残高 (補正後) (F)	補正額(出) (G)	当期末 支払資金残高 (C+F+G)
本部	89,076,778	90,272,872	△ 1,196,094	32,738,169	0	32,738,169	0	31,542,075
法人運営事業	89,076,778	90,272,872	△ 1,196,094	32,738,169	0	32,738,169	0	31,542,075
総合福祉会館	170,132,031	170,132,031	0	0	0	0	0	0
地域福祉活動推進事業	3,641,517	3,641,517	0	0	0	0	0	0
小地域ネットワーク事業	33,922,181	33,922,181	0	0	0	0	0	0
在宅福祉活動推進事業	2,946,646	2,946,646	0	0	0	0	0	0
普恵銀行事業	676,038	676,038	0	0	0	0	0	0
福祉サービス利用支援事業	15,185,892	15,185,892	0	0	0	0	0	0
成年後見中核機関運営事業	4,710,000	4,710,000	0	0	0	0	0	0
共同募金分配金事業	5,758,771	5,758,771	0	0	0	0	0	0
ボランティアセンター管理運営事業	15,316,013	15,316,013	0	0	0	0	0	0
ふれあい見守り事業	2,775,227	2,775,227	0	0	0	0	0	0
在宅高齢者福祉対策事業	1,078,000	1,078,000	0	0	0	0	0	0
行旅死亡人追悼法要事業	50,000	50,000	0	0	0	0	0	0
資金貸付事業	29,882,966	29,882,966	0	0	0	0	0	0
基金運営事業	118,291	118,291	0	0	0	0	0	0
総合福祉会館管理運営事業	54,070,489	54,070,489	0	0	0	0	0	0
北部総合福祉会館	71,833,442	71,833,442	0	10,000,000	0	10,000,000	0	10,000,000
北部総合福祉会館管理運営事業	66,596,403	66,596,403	0	10,000,000	0	10,000,000	0	10,000,000
地域福祉総合相談員事業	5,237,039	5,237,039	0	0	0	0	0	0
高齢者支援事業	131,982,730	131,982,730	0	20,000,000	0	20,000,000	0	20,000,000
第1圏域介護予防支援事業	11,337,351	11,337,351	0	0	0	0	0	0
居宅介護支援事業	30,739,892	30,739,892	0	0	0	0	0	0
訪問介護事業	20,019,145	20,019,145	0	20,000,000	0	20,000,000	0	20,000,000
第1圏域地域包括支援センター事業	25,575,000	25,575,000	0	0	0	0	0	0
基幹型地域包括支援センター事業	8,500,932	8,500,932	0	0	0	0	0	0
生活支援コーデイネーター配置事業	6,000,000	6,000,000	0	0	0	0	0	0
第1圏域認知症地域支援推進員事業	1,500,000	1,500,000	0	0	0	0	0	0
第1圏域出張型介護予防事業	56,876	56,876	0	0	0	0	0	0
要介護認定調査事業	28,253,534	28,253,534	0	0	0	0	0	0
障がい者支援事業	148,883,578	148,883,578	0	30,000,000	0	30,000,000	0	30,000,000
障がい者福祉サービス等事業	73,642,433	73,642,433	0	30,000,000	0	30,000,000	0	30,000,000
障がい者サービス等利用計画作成事業	9,252,205	9,252,205	0	0	0	0	0	0
基幹相談支援センター事業	57,538,730	57,538,730	0	0	0	0	0	0
障がい者地域活動支援センター事業	8,450,210	8,450,210	0	0	0	0	0	0
合計	611,908,559	613,104,653	△ 1,196,094	92,738,169	0	92,738,169	0	91,542,075

※ 各拠点・サービス区分の収入額については、各拠点区分資金収支明細書の「事業活動収入計(1)」・「施設整備等収入計(4)」・「その他の活動収入計(7)」を合計します(1+4+7)。支出額についても、「事業活動支出計(2)」・「施設整備等支出計(5)」・「その他の活動支出計(8)」を合計します(2+5+8)。

法人単位資金収支計算書
(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収入	会費収入	5,505,000	5,580,540	△ 75,540	
	寄附金収入	500,000	671,008	△ 171,008	
	経常経費補助金収入	114,587,000	107,582,197	7,004,803	
	受託金収入	320,153,000	314,769,985	5,383,015	
	事業収入	1,310,000	1,380,991	△ 70,991	
	負担金収入	921,000	1,095,000	△ 174,000	
	介護保険事業収入	52,893,000	52,799,729	93,271	
	障がい福祉サービス等事業収入	83,557,000	72,996,924	10,560,076	
	受取利息配当金収入	317,000	253,895	63,105	
	その他の収入	1,051,000	1,183,813	△ 132,813	
		事業活動収入計(1)	580,794,000	558,314,082	22,479,918
事業活動による支出	人件費支出	438,067,000	408,729,354	29,337,646	
	事業費支出	53,007,000	53,858,091	△ 851,091	
	事務費支出	70,756,000	71,981,435	△ 1,225,435	
	分担金支出	310,000	310,000	0	
	助成金支出	19,838,000	17,088,648	2,749,352	
	負担金支出	33,000	53,000	△ 20,000	
		事業活動支出計(2)	582,011,000	552,020,528	29,990,472
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 1,217,000	6,293,554	△ 7,510,554	
施設整備等による収入					
	施設整備等収入計(4)				
施設整備等による支出	固定資産取得支出	3,352,000	3,882,236	△ 530,236	
	施設整備等支出計(5)	3,352,000	3,882,236	△ 530,236	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 3,352,000	△ 3,882,236	530,236	
その他の活動による収入	積立資産取崩収入	15,107,000	6,194,595	8,912,405	
	その他の活動収入計(7)	15,107,000	6,194,595	8,912,405	
その他の活動による支出	積立資産支出	8,179,000	9,802,007	△ 1,623,007	
	その他の活動支出計(8)	8,179,000	9,802,007	△ 1,623,007	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	6,928,000	△ 3,607,412	10,535,412	
	予備費支出(10)	2,000,000	—	2,000,000	
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	359,000	△ 1,196,094	1,555,094	
	前期末支払資金残高(12)		92,738,169	△ 92,738,169	
	当期末支払資金残高(11)+(12)	359,000	91,542,075	△ 91,183,075	

社会福祉事業区分 資金収支内訳表
(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		本部	総合福祉会館	北部総合福祉会館	高齢者支援事業	障がい者支援事業	合計	内部取引消去	事業区分合計
事業活動による収支	収入								
	会費収入	5,580,540					5,580,540		5,580,540
	寄附金収入		671,008				671,008		671,008
	経常経費補助金収入	56,007,000	51,575,197				107,582,197		107,582,197
	受託金収入	200,000	110,581,747	71,667,563	65,937,205	66,383,470	314,769,985		314,769,985
	事業収入	560,091	820,900				1,380,991		1,380,991
	負担金収入		1,095,000				1,095,000		1,095,000
	介護保険事業収入				52,799,729		52,799,729		52,799,729
	障がい福祉サービス等事業収入					72,996,924	72,996,924		72,996,924
	受取利息配当金収入	130,574	123,321				253,895		253,895
	その他の収入	651,475	452,338		75,000	5,000	1,183,813		1,183,813
	事業活動収入計(1)	63,129,680	165,319,511	71,667,563	118,811,934	139,385,394	558,314,082		558,314,082
	支出								
人件費支出	47,298,652	87,029,172	46,260,792	98,313,694	129,827,044	408,729,354		408,729,354	
事業費支出	1,765,946	36,484,013	12,595,050	891,844	2,121,238	53,858,091		53,858,091	
事務費支出	8,983,431	26,925,174	12,340,163	10,896,789	12,835,878	71,981,435		71,981,435	
分担金支出	310,000					310,000		310,000	
助成金支出		17,088,648				17,088,648		17,088,648	
負担金支出	50,000	3,000				53,000		53,000	
事業活動支出計(2)	58,408,029	167,530,007	71,196,005	110,102,327	144,784,160	552,020,528		552,020,528	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	4,721,651	△ 2,210,496	471,558	8,709,607	△ 5,398,766	6,293,554		6,293,554	
施設整備等による収支	収入								
	施設整備等収入計(4)								
	支出								
	固定資産取得支出	1,743,536	622,600		914,400	601,700	3,882,236		3,882,236
	施設整備等支出計(5)	1,743,536	622,600		914,400	601,700	3,882,236		3,882,236
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 1,743,536	△ 622,600		△ 914,400	△ 601,700	△ 3,882,236		△ 3,882,236	
その他の活動による収支	収入								
	積立資産取崩収入	6,194,595					6,194,595		6,194,595
	拠点区分間繰入金収入	19,752,503	3,734,528	165,879		7,596,391	31,249,301	△ 31,249,301	0
	その他の活動収入計(7)	25,947,098	3,734,528	165,879	0	7,596,391	37,443,896	△ 31,249,301	6,194,595
	支出								
積立資産支出	9,105,985	696,022				9,802,007		9,802,007	
拠点区分間繰入金支出	21,015,322	205,410	637,437	7,795,207	1,595,925	31,249,301	△ 31,249,301	0	
その他の活動支出計(8)	30,121,307	901,432	637,437	7,795,207	1,595,925	41,051,308	△ 31,249,301	9,802,007	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 4,174,209	2,833,096	△ 471,558	△ 7,795,207	6,000,466	△ 3,607,412	0	△ 3,607,412	
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	△ 1,196,094	0	0	0	0	△ 1,196,094	0	△ 1,196,094	
前期末支払資金残高(11)	32,738,169	0	10,000,000	20,000,000	30,000,000	92,738,169		92,738,169	
当期末支払資金残高(10)+(11)	31,542,075	0	10,000,000	20,000,000	30,000,000	91,542,075	0	91,542,075	

本部拠点区分 資金収支明細書
(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 和泉市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目	サービス区分	合計	内部取引消去	拠点区分合計				
	法人運営事業(総合福祉会館)							
収入	会費収入	5,580,540	5,580,540	5,580,540				
	一般会費収入	5,546,540	5,546,540	5,546,540				
	その他会費収入	34,000	34,000	34,000				
	経常経費補助金収入	56,007,000	56,007,000	56,007,000				
	市補助金収入	56,007,000	56,007,000	56,007,000				
	法人運営事業補助金収入	56,007,000	56,007,000	56,007,000				
	受託金収入	200,000	200,000	200,000				
	地区募金会受託金収入	200,000	200,000	200,000				
	共同募金事務費収入	200,000	200,000	200,000				
	事業収入	560,091	560,091	560,091				
	広告料収入	306,191	306,191	306,191				
	助成金収入	253,900	253,900	253,900				
	受取利息配当金収入	130,574	130,574	130,574				
	受取利息配当金収入	19,518	19,518	19,518				
	退職積立金受取利息配当金収入	111,056	111,056	111,056				
	その他の収入	651,475	651,475	651,475				
	受入研修費収入	110,000	110,000	110,000				
	雑収入	541,475	541,475	541,475				
	事業活動収入計(1)	63,129,680	63,129,680	63,129,680				
	事業活動による支出	人件費支出	47,298,652	47,298,652	47,298,652			
役員報酬支出		540,000	540,000	540,000				
職員給料支出		22,828,121	22,828,121	22,828,121				
職員俸給		17,069,509	17,069,509	17,069,509				
職員諸手当		5,758,612	5,758,612	5,758,612				
職員賞与支出		6,924,479	6,924,479	6,924,479				
準職員賃金支出		2,956,809	2,956,809	2,956,809				
臨時職員賃金支出		4,617,802	4,617,802	4,617,802				
退職給付支出		3,111,907	3,111,907	3,111,907				
法定福利費支出		6,319,534	6,319,534	6,319,534				
事業費支出		1,765,946	1,765,946	1,765,946				
保険料支出		600	600	600				
車輛費支出		377,565	377,565	377,565				
委員等旅費交通費支出		192,300	192,300	192,300				
広報費支出		285,021	285,021	285,021				
手数料支出		910,460	910,460	910,460				
事務費支出		8,983,431	8,983,431	8,983,431				
福利厚生費支出		1,391,170	1,391,170	1,391,170				
旅費交通費支出		316,980	316,980	316,980				
役員等旅費交通費支出		142,100	142,100	142,100				
職員等旅費交通費支出		174,880	174,880	174,880				
研修研究費支出		1,083,000	1,083,000	1,083,000				
職員等研修研究費支出		1,083,000	1,083,000	1,083,000				
事務消耗品費支出		111,024	111,024	111,024				
印刷製本費支出		3,300	3,300	3,300				
通信運搬費支出		390,221	390,221	390,221				
会議費支出		33,851	33,851	33,851				
業務委託費支出		1,615,844	1,615,844	1,615,844				
手数料支出		383,915	383,915	383,915				
保険料支出		664,916	664,916	664,916				
賃借料支出	437,947	437,947	437,947					
土地・建物賃借料支出	1,860,813	1,860,813	1,860,813					
租税公課支出	63,150	63,150	63,150					
渉外費支出	16,500	16,500	16,500					
諸会費支出	132,400	132,400	132,400					
七団体連絡調整費支出	148,400	148,400	148,400					

	雑支出	330,000	330,000		330,000				
	分担金支出	310,000	310,000		310,000				
	分担金支出	310,000	310,000		310,000				
	負担金支出	50,000	50,000		50,000				
	負担金支出	50,000	50,000		50,000				
	事業連絡会等会費支出	50,000	50,000		50,000				
	事業活動支出計(2)	58,408,029	58,408,029		58,408,029				
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	4,721,651	4,721,651		4,721,651				
施設整備等による収支	収入								
	施設整備等収入計(4)								
	支出								
	固定資産取得支出	1,743,536	1,743,536		1,743,536				
	器具及び備品取得支出	1,743,536	1,743,536		1,743,536				
	施設整備等支出計(5)	1,743,536	1,743,536		1,743,536				
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 1,743,536	△ 1,743,536		△ 1,743,536				
その他の活動による収支	収入								
		積立資産取崩収入	6,194,595	6,194,595		6,194,595			
		退職給付引当資産取崩収入	3,221,059	3,221,059		3,221,059			
		備品購入積立資産取崩収入	1,743,536	1,743,536		1,743,536			
		運用財産積立資産取崩収入	990,000	990,000		990,000			
		事業安定化基金積立資産取崩収入	240,000	240,000		240,000			
		拠点区分間繰入金収入	19,752,503	19,752,503		19,752,503			
		サービス区分間繰入金収入	7,567,972	7,567,972	△ 7,567,972	0			
		(本部会計)サービス区分間繰入金収入	7,567,972	7,567,972	△ 7,567,972	0			
		その他の活動収入計(7)	33,515,070	33,515,070	△ 7,567,972	25,947,098			
		支出							
		積立資産支出	9,105,985	9,105,985		9,105,985			
		退職給付引当資産支出	9,086,472	9,086,472		9,086,472			
		備品購入積立資産支出	1,805	1,805		1,805			
	運用財産積立資産支出	9,569	9,569		9,569				
	事業安定化基金積立資産支出	8,139	8,139		8,139				
	拠点区分間繰入金支出	21,015,322	21,015,322		21,015,322				
	サービス区分間繰入金支出	7,567,972	7,567,972	△ 7,567,972	0				
	(本部会計)サービス区分間繰入金支出	7,567,972	7,567,972	△ 7,567,972	0				
	その他の活動支出計(8)	37,689,279	37,689,279	△ 7,567,972	30,121,307				
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 4,174,209	△ 4,174,209	0	△ 4,174,209				
	当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	△ 1,196,094	△ 1,196,094	0	△ 1,196,094				
	前期末支払資金残高(11)	32,738,169	32,738,169		32,738,169				
	当期末支払資金残高(10)+(11)	31,542,075	31,542,075	0	31,542,075				

総合福祉会館拠点区分 資金収支明細書
(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 和泉市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目	サービス区分								
	地域福祉活動推進事業	小地域ネットワーク事業	在宅福祉活動推進事業	善意銀行事業	福祉サービス利用支援事業	成年後見中核機関運営事業	共同募金分配金事業	ボランティアセンター管理運営事業	ふれあい見守り事業
寄附金収入				671,008					
寄附金収入				671,008					
経常経費補助金収入	1,117,372	33,922,181	2,255,646		6,150,000		5,758,771		2,371,227
市補助金収入	1,117,372	33,922,181	2,255,646		6,150,000				2,371,227
小地域ネットワーク活動推進事業補助金収入		33,922,181							
おせち料理配食サービス事業補助金収入			287,949						
心身障がい児訓練事業補助金収入			1,967,697						
日常生活支援事業補助金収入					6,150,000				
地域福祉推進事業補助金収入	404,837								
地域福祉活動支援事業補助金収入	712,535								
ふれあい見守り事業補助金収入									2,371,227
共同募金配分金収入							5,758,771		
一般募金配分金収入							4,014,040		
歳末たすけあい配分金事業補助金収入							1,744,731		
受託金収入					7,147,000	4,710,000		14,863,675	
市受託金収入						4,710,000		14,863,675	
ボランティアセンター管理運営事業受託金収入								14,863,675	
在宅高齢者福祉対策事業受託金収入									
行旅死亡人追悼法要事業受託金収入									
総合福祉会館指定管理料収入									
成年後見中核機関運営事業受託金収入						4,710,000			
府社協受託金収入					7,147,000				
日常生活支援事業受託金収入					7,147,000				
民生委員実費弁償費収入									
生活福祉資金事務費収入									
小口生活資金事務費収入									
市区町村社協体制整備費収入									
コロナ特例債権管理事務費収入									
事業収入					810,900				
利用料収入					810,900				
手数料収入									
負担金収入			691,000						404,000
負担金収入			691,000						404,000
ふれあい配食負担金収入									404,000
おせち料理配食負担金収入			452,500						
障がい児リハビリ負担金収入			238,500						
受取利息配当金収入				5,030					
受取利息配当金収入				5,030					
その他の収入								452,338	
雑収入								452,338	
事業活動収入計(1)	1,117,372	33,922,181	2,946,646	676,038	14,107,900	4,710,000	5,758,771	15,316,013	2,775,227
人件費支出		19,873,516			13,343,295	3,875,942		6,527,281	
職員給料支出		11,324,001			3,688,128	2,221,179			
職員俸給		9,063,000			2,803,500	1,867,200			
職員諸手当		2,261,001			884,628	353,979			
職員賞与支出		2,872,616			1,294,562	771,559			
準職員賃金支出		2,966,439			815,579	371,737		3,199,126	
臨時職員賃金支出					5,723,121			2,408,890	
退職給付支出						48,000			
法定福利費支出		2,710,460			1,821,905	463,467		919,265	
事業費支出	77,000	169,978	2,872,847	3,840	489,486	261,600	3,496,670	4,374,355	2,022,199
保健衛生費支出									
水道光熱費支出								593,639	
消耗器具備品費支出		54,778	77,467	3,840			1,169,161	66,536	31,575
保険料支出							52,800	3,600	

事業活動による収支

	賃借料支出	27,000	15,000				27,600	197,320	144,210	
	車輛費支出					319,550				
	諸謝金支出	50,000	54,000	2,060,000			102,000	433,000	3,539,060	
	委員等旅費交通費支出	0							24,000	0
	印刷製本費支出		46,200					149,226	3,310	
	業務委託費支出			735,380			132,000	51,150		1,943,224
	広報費支出					137,456		1,327,193		
	研修費支出							27,500		
	手数料支出					32,480		89,320		
	通信運搬費支出									47,400
支出	事務費支出	355,137	1,004,547	73,799	4,467	1,191,911	461,458	417,675	4,265,077	631,228
	福利厚生費支出		35,200			32,736	11,264		17,600	
	旅費交通費支出		466,220			72,470	21,740	48,300	382,750	0
	役員等旅費交通費支出		415,500					41,500	374,800	0
	職員等旅費交通費支出		50,720			72,470	21,740	6,800	7,950	
	研修研究費支出		5,000					3,000	119,402	
	職員等研修研究費支出		5,000					3,000	119,402	
	事務消耗品費支出	20,241	121,772	2,723	2,287	110,228	68,416	231,487	394,986	473,444
	印刷製本費支出	184,994	238,668			60,368	25,427		175,634	57,024
	修繕費支出								3,300	
	通信運搬費支出	32,254	130,035	9,556	1,728	278,827	52,641	116,318	335,593	93,870
	会議費支出	117,648	0				1,710	4,950	72,506	
	業務委託費支出			60,720					746,940	
	手数料支出		1,652		452	189,810	31,020		40,380	
	保険料支出		6,000			197,390			13,560	4,090
	賃借料支出					240,282		16,620	361,152	
	租税公課支出			800		9,800	215,000		1,276,334	2,800
	保守料支出						31,240		324,940	
	助成金支出	3,209,380	11,682,442		90,000			1,844,426	136,300	121,800
	助成金支出	3,209,380	11,682,442		90,000			1,844,426	136,300	121,800
	校区社協助成金支出		6,696,442							
	その他助成金支出	3,209,380	4,986,000		90,000			1,844,426	136,300	121,800
	負担金支出								3,000	
	負担金支出								3,000	
	事業連絡会等会費支出								3,000	
	事業活動支出計(2)	3,641,517	32,730,483	2,946,646	98,307	15,024,692	4,599,000	5,758,771	15,306,013	2,775,227
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 2,524,145	1,191,698	0	577,731	△ 916,792	111,000	0	10,000	0
施設整備等による収入										
	施設整備等収入計(4)									
施設整備等による支出										
	固定資産取得支出					156,200	154,000			
	器具及び備品取得支出					156,200	154,000			
	施設整備等支出計(5)					156,200	154,000			
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)					△ 156,200	△ 154,000			
その他の活動による収入										
	拠点区分間繰入金収入	2,524,145								
	サービス区分間繰入金収入					1,077,992				
	(総合福祉会館)サービス区分間繰入金収入					1,077,992				
	その他の活動収入計(7)	2,524,145				1,077,992				
その他の活動による支出										
	積立資産支出				577,731					
	善意銀行積立資産支出				575,412					
	障がい者基金積立資産支出				2,319					
	社会福祉基金積立資産支出									
	災害基金積立資産支出									
	拠点区分間繰入金支出		113,706			5,000	△ 43,000		10,000	
	サービス区分間繰入金支出		1,077,992							
	(総合福祉会館)サービス区分間繰入金支出		1,077,992							
	その他の活動支出計(8)		1,191,698		577,731	5,000	△ 43,000		10,000	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	2,524,145	△ 1,191,698		△ 577,731	1,072,992	43,000		△ 10,000	
	当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	前期末支払資金残高(11)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	当期末支払資金残高(10)+(11)	0	0	0	0	0	0	0	0	0

総合福祉会館拠点区分 資金収支明細書
(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 和泉市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目	サービス区分					合計	内部取引消去	拠点区分合計
	在宅高齢者福祉対策事業	行旅死亡人追悼法要事業	資金貸付事業	基金運営事業	総合福祉会館管理運営事業			
寄附金収入						671,008		671,008
寄附金収入						671,008		671,008
経常経費補助金収入						51,575,197		51,575,197
市補助金収入						45,816,426		45,816,426
小地域ネットワーク活動推進事業補助金収入						33,922,181		33,922,181
おせち料理配食サービス事業補助金収入						287,949		287,949
心身障がい児訓練事業補助金収入						1,967,697		1,967,697
日常生活支援事業補助金収入						6,150,000		6,150,000
地域福祉推進事業補助金収入						404,837		404,837
地域福祉活動支援事業補助金収入						712,535		712,535
ふれあい見守り事業補助金収入						2,371,227		2,371,227
共同募金配分金収入						5,758,771		5,758,771
一般募金配分金収入						4,014,040		4,014,040
歳末たすけあい配分金事業補助金収入						1,744,731		1,744,731
受託金収入	1,078,000	40,000	29,671,072		53,072,000	110,581,747		110,581,747
市受託金収入	1,078,000	40,000			53,072,000	73,763,675		73,763,675
ボランティアセンター管理運営事業受託金収入						14,863,675		14,863,675
在宅高齢者福祉対策事業受託金収入	1,078,000					1,078,000		1,078,000
行旅死亡人追悼法要事業受託金収入		40,000				40,000		40,000
総合福祉会館指定管理料収入					53,072,000	53,072,000		53,072,000
成年後見中核機関運営事業受託金収入						4,710,000		4,710,000
府社協受託金収入			29,671,072			36,818,072		36,818,072
日常生活支援事業受託金収入						7,147,000		7,147,000
民生委員実費弁償費収入			696,072			696,072		696,072
生活福祉資金事務費収入			85,000			85,000		85,000
小口生活資金事務費収入			138,000			138,000		138,000
市区町村社協体制整備費収入			6,752,000			6,752,000		6,752,000
コロナ特例債権管理事務費収入			22,000,000			22,000,000		22,000,000
事業収入		10,000				820,900		820,900
利用料収入						810,900		810,900
手数料収入		10,000				10,000		10,000
負担金収入						1,095,000		1,095,000
負担金収入						1,095,000		1,095,000
ふれあい配食負担金収入						404,000		404,000
おせち料理配食負担金収入						452,500		452,500
障がい児リハビリ負担金収入						238,500		238,500
受取利息配当金収入				118,291		123,321		123,321
受取利息配当金収入				118,291		123,321		123,321
その他の収入						452,338		452,338
雑収入						452,338		452,338
事業活動収入計(1)	1,078,000	50,000	29,671,072	118,291	53,072,000	165,319,511		165,319,511
人件費支出			21,928,339		21,480,799	87,029,172		87,029,172
職員給料支出			6,835,365		4,772,948	28,841,621		28,841,621
職員俸給			5,255,700		3,630,300	22,619,700		22,619,700
職員諸手当			1,579,665		1,142,648	6,221,921		6,221,921
職員賞与支出			2,060,962		1,522,489	8,522,188		8,522,188
準職員賃金支出			2,858,899		2,956,784	13,168,564		13,168,564
臨時職員賃金支出			7,161,644		9,042,672	24,336,327		24,336,327
退職給付支出					120,000	168,000		168,000
法定福利費支出			3,011,469		3,065,906	11,992,472		11,992,472
事業費支出	1,022,000	40,000	2,819,506		18,834,532	36,484,013		36,484,013
保健衛生費支出					11,510	11,510		11,510
水道光熱費支出					11,674,473	12,268,112		12,268,112
消耗器具備品費支出			202,070		639,772	2,245,199		2,245,199
保険料支出						56,400		56,400

事業活動による収支

	賃借料支出					15,050	426,180		426,180
	車輛費支出			64,533			384,083		384,083
	諸謝金支出	572,000				5,009,700	11,819,760		11,819,760
	委員等旅費交通費支出	450,000				1,600	475,600		475,600
	印刷製本費支出						198,736		198,736
	業務委託費支出		40,000			568,645	3,470,399		3,470,399
	広報費支出			1,299,321		274,912	3,038,882		3,038,882
	研修費支出					396,390	423,890		423,890
	手数料支出			1,087,100		242,480	1,451,380		1,451,380
	通信運搬費支出			166,482			213,882		213,882
支出	事務費支出	56,000	2,190	4,600,827		13,860,858	26,925,174		26,925,174
	福利厚生費支出			52,800		52,800	202,400		202,400
	旅費交通費支出	2,500	2,190	24,600		9,260	1,030,030		1,030,030
	役員等旅費交通費支出	2,500					834,300		834,300
	職員等旅費交通費支出	0	2,190	24,600		9,260	195,730		195,730
	研修研究費支出			26,400		8,000	161,802		161,802
	職員等研修研究費支出			26,400		8,000	161,802		161,802
	事務消耗品費支出			929,986		907,430	3,263,000		3,263,000
	印刷製本費支出			828,227		231,119	1,801,461		1,801,461
	修繕費支出					1,111,478	1,114,778		1,114,778
	通信運搬費支出	6,000		842,846		374,661	2,274,329		2,274,329
	会議費支出						196,814		196,814
	業務委託費支出					10,507,950	11,315,610		11,315,610
	手数料支出			746,410		460,090	1,469,814		1,469,814
	保険料支出			94,740		34,070	349,850		349,850
	賃借料支出			1,054,818		158,400	1,831,272		1,831,272
	租税公課支出	47,500				5,600	1,557,834		1,557,834
	保守料支出						356,180		356,180
	助成金支出					4,300	17,088,648		17,088,648
	助成金支出					4,300	17,088,648		17,088,648
	校区社協助成金支出						6,696,442		6,696,442
	その他助成金支出					4,300	10,392,206		10,392,206
	負担金支出						3,000		3,000
	負担金支出						3,000		3,000
	事業連絡会等会費支出						3,000		3,000
	事業活動支出計(2)	1,078,000	42,190	29,348,672		54,180,489	167,530,007		167,530,007
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	0	7,810	322,400	118,291	△ 1,108,489	△ 2,210,496		△ 2,210,496
施設整備等による収入									
	施設整備等収入計(4)								
施設整備等による支出									
	固定資産取得支出			312,400			622,600		622,600
	器具及び備品取得支出			312,400			622,600		622,600
	施設整備等支出計(5)			312,400			622,600		622,600
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)			△ 312,400			△ 622,600		△ 622,600
その他の活動による収入									
	拠点区分間繰入金収入			211,894	0	998,489	3,734,528		3,734,528
	サービス区分間繰入金収入						1,077,992	△ 1,077,992	0
	(総合福祉会館)サービス区分間繰入金収入						1,077,992	△ 1,077,992	0
	その他の活動収入計(7)			211,894	0	998,489	4,812,520	△ 1,077,992	3,734,528
その他の活動による支出									
	積立資産支出				118,291		696,022		696,022
	善意銀行積立資産支出						575,412		575,412
	障がい者基金積立資産支出						2,319		2,319
	社会福祉基金積立資産支出				116,230		116,230		116,230
	災害基金積立資産支出				2,061		2,061		2,061
	拠点区分間繰入金支出		7,810	221,894		△ 110,000	205,410		205,410
	サービス区分間繰入金支出						1,077,992	△ 1,077,992	0
	(総合福祉会館)サービス区分間繰入金支出						1,077,992	△ 1,077,992	0
	その他の活動支出計(8)		7,810	221,894	118,291	△ 110,000	1,979,424	△ 1,077,992	901,432
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△ 7,810	△ 10,000	△ 118,291	1,108,489	2,833,096	0	2,833,096
	当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	0	0	0	0	0	0	0	0
	前期末支払資金残高(11)	0	0	0	0	0	0		0
	当期末支払資金残高(10)+(11)	0	0	0	0	0	0	0	0

北部総合福祉会館拠点区分 資金収支明細書
(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 和泉市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目	サービス区分		合計	内部取引消去	拠点区分合計			
	北部総合福祉会館管 理運営事業	地域福祉総合相談員 事業						
収入	受託金収入	66,532,563	5,135,000	71,667,563		71,667,563		
	市受託金収入	66,532,563	5,135,000	71,667,563		71,667,563		
	北部総合福祉会館指定管理料収入	66,532,563		66,532,563		66,532,563		
	地域福祉総合相談員事業受託金収入		3,350,000	3,350,000		3,350,000		
	生活困窮者自立相談支援事業受託金収入		1,785,000	1,785,000		1,785,000		
	事業活動収入計(1)	66,532,563	5,135,000	71,667,563		71,667,563		
事業活動による収支 支出	人件費支出	41,429,535	4,831,257	46,260,792		46,260,792		
	職員給料支出	17,947,500		17,947,500		17,947,500		
	職員俸給	14,142,531		14,142,531		14,142,531		
	職員諸手当	3,804,969		3,804,969		3,804,969		
	職員賞与支出	5,804,782		5,804,782		5,804,782		
	準職員賃金支出	3,010,077	2,920,834	5,930,911		5,930,911		
	臨時職員賃金支出	8,587,561	1,241,042	9,828,603		9,828,603		
	退職給付支出	348,000		348,000		348,000		
	法定福利費支出	5,731,615	669,381	6,400,996		6,400,996		
	事業費支出	12,582,220	12,830	12,595,050		12,595,050		
	保健衛生費支出	24,476		24,476		24,476		
	水道光熱費支出	8,052,431		8,052,431		8,052,431		
	消耗器具備品費支出	1,303,635		1,303,635		1,303,635		
	保険料支出		2,830	2,830		2,830		
	賃借料支出	16,104		16,104		16,104		
	諸謝金支出	2,367,020	10,000	2,377,020		2,377,020		
	業務委託費支出	186,171		186,171		186,171		
	広報費支出	274,912		274,912		274,912		
	研修費支出	176,530		176,530		176,530		
	手数料支出	180,941		180,941		180,941		
	事務費支出	11,957,211	382,952	12,340,163		12,340,163		
	福利厚生費支出	79,200	13,200	92,400		92,400		
	旅費交通費支出	24,940	11,280	36,220		36,220		
	職員等旅費交通費支出	24,940	11,280	36,220		36,220		
	研修研究費支出	8,000	12,000	20,000		20,000		
	職員等研修研究費支出	8,000	12,000	20,000		20,000		
	事務消耗品費支出	1,240,855	39,210	1,280,065		1,280,065		
	印刷製本費支出	173,921	108,139	282,060		282,060		
	燃料費支出	3,158		3,158		3,158		
	修繕費支出	1,368,857		1,368,857		1,368,857		
	通信運搬費支出	437,456	88,611	526,067		526,067		
	業務委託費支出	7,979,562		7,979,562		7,979,562		
	手数料支出	574,890	6,990	581,880		581,880		
	保険料支出	42,250		42,250		42,250		
賃借料支出	18,522	18,522	37,044		37,044			
租税公課支出	5,600	85,000	90,600		90,600			
事業活動支出計(2)	65,968,966	5,227,039	71,196,005		71,196,005			
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	563,597	△ 92,039	471,558		471,558			
施設整備等による収支	収入							
	施設整備等収入計(4)							
施設整備等による収支	支出							
	施設整備等支出計(5)							
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)								

その 他の 活動 による 収 入 支 出	拠点区分間繰入金収入	63,840	102,039	165,879		165,879			
	その他の活動収入計(7)	63,840	102,039	165,879		165,879			
	拠点区分間繰入金支出	627,437	10,000	637,437		637,437			
	その他の活動支出計(8)	627,437	10,000	637,437		637,437			
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 563,597	92,039	△ 471,558		△ 471,558			
	当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	0	0	0		0			
前期末支払資金残高(11)	10,000,000	0	10,000,000		10,000,000				
当期末支払資金残高(10)+(11)	10,000,000	0	10,000,000		10,000,000				

高齢者支援事業拠点区分 資金収支明細書
(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 和泉市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目	サービス区分							
	第1圏域介護予防支援事業	居宅介護支援事業	訪問介護事業	第1圏域地域包括支援センター事業	基幹型包括支援センター事業	生活支援コーディネーター配置事業	第1圏域認知症地域支援推進員事業	第1圏域地域出張型介護予防事業
収入								
受託金収入				25,500,000	6,000,000	6,000,000	1,500,000	
市受託金収入				25,500,000	6,000,000	6,000,000	1,500,000	
地域包括支援センター事業受託金収入				25,500,000				
基幹型地域包括支援センター事業受託金収入				0	6,000,000			
要介護認定調査事業受託金収入								
生活支援コーディネーター配置事業受託金収入				0		6,000,000		
認知症推進員事業受託金収入				0			1,500,000	
介護保険事業収入	11,337,351	21,443,233	20,019,145					
居宅介護料収入(訪問介護)			20,019,145					
(介護報酬収入)			18,706,064					
介護報酬収入			18,706,064					
(利用者負担金収入)			1,313,081					
利用者負担金収入(一般)			1,313,081					
居宅介護支援介護料収入	11,337,351	21,443,233						
居宅介護支援介護料収入		20,595,259						
介護予防支援介護料収入	11,337,351	847,974						
その他の収入				75,000				
雑収入				75,000				
事業活動収入計(1)	11,337,351	21,443,233	20,019,145	25,575,000	6,000,000	6,000,000	1,500,000	
支出								
人件費支出	7,598,195	18,023,489	14,523,061	22,376,926	8,358,929	3,858,024	993,811	
職員給料支出		4,155,634		6,611,367	5,444,946	2,725,346	782,359	
職員俸給		3,294,900		5,946,900	4,178,100	2,403,300	696,600	
職員諸手当		860,734		664,467	1,266,846	322,046	85,759	
職員賞与支出		1,399,067		2,156,780	1,761,461	613,434	83,070	
準職員賃金支出		3,115,735		3,569,624				
臨時職員賃金支出	6,522,633	6,766,593	13,707,516	6,923,374				
法定福利費支出	1,075,562	2,586,460	815,545	3,115,781	1,152,522	519,244	128,382	
事業費支出	54,879	32,470	99,490	107,800	9,080	9,080		
保険料支出	17,930	32,470	9,420	36,300	9,080	9,080		
賃借料支出				10,200				
車両費支出	36,949	0	0					
諸謝金支出			88,000	61,300				
手数料支出			2,070					
事務費支出	410,562	1,156,628	1,717,225	1,892,283	132,923	353,950	113,112	56,876
福利厚生費支出	17,600	35,200	13,200	44,000	8,800	8,800		
旅費交通費支出		0		23,190		18,990	3,660	
職員等旅費交通費支出		0		23,190		18,990	3,660	
研修研究費支出		36,500		36,680		19,800	38,550	
職員等研修研究費支出		36,500		36,680		19,800	38,550	
事務消耗品費支出	81,157	0	103,672	209,987	6,160	48,455	69,272	6,160
印刷製本費支出	50,751	108,138	213,738	53,492	50,716	50,716		50,716
通信運搬費支出	192,336	527,813	79,165	213,532	42,297	182,239	1,630	
業務委託費支出			55,000					
手数料支出	9,508	61,948	22,718	362,280	6,428	6,428		
保険料支出	59,210	0	0					
賃借料支出		0	971,705	949,122	18,522	18,522		
土地・建物賃借料支出		387,029	258,027					
租税公課支出								
事業活動支出計(2)	8,063,636	19,212,587	16,339,776	24,377,009	8,500,932	4,221,054	1,106,923	56,876
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	3,273,715	2,230,646	3,679,369	1,197,991	△ 2,500,932	1,778,946	393,077	△ 56,876

高齢者支援事業拠点区分 資金収支明細書
(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 和泉市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目	サービス区分	合計	内部取引消去	拠点区分合計				
	要介護認定調査事業							
受託金収入	26,937,205	65,937,205		65,937,205				
市受託金収入	26,937,205	65,937,205		65,937,205				
地域包括支援センター事業受託金収入		25,500,000		25,500,000				
基幹型地域包括支援センター事業受託金収入		6,000,000		6,000,000				
要介護認定調査事業受託金収入	26,937,205	26,937,205		26,937,205				
生活支援コーディネーター配置事業受託金収入		6,000,000		6,000,000				
認知症推進員事業受託金収入		1,500,000		1,500,000				
介護保険事業収入		52,799,729		52,799,729				
居宅介護料収入(訪問介護)		20,019,145		20,019,145				
(介護報酬収入)		18,706,064		18,706,064				
介護報酬収入		18,706,064		18,706,064				
(利用者負担金収入)		1,313,081		1,313,081				
利用者負担金収入(一般)		1,313,081		1,313,081				
居宅介護支援介護料収入		32,780,584		32,780,584				
居宅介護支援介護料収入		20,595,259		20,595,259				
介護予防支援介護料収入		12,185,325		12,185,325				
その他の収入		75,000		75,000				
雑収入		75,000		75,000				
事業活動収入計(1)	26,937,205	118,811,934		118,811,934				
人件費支出	22,581,259	98,313,694		98,313,694				
職員給料支出	3,800,568	23,520,220		23,520,220				
職員俸給	3,172,500	19,692,300		19,692,300				
職員諸手当	628,068	3,827,920		3,827,920				
職員賞与支出	1,524,070	7,537,882		7,537,882				
準職員賃金支出	10,418,449	17,103,808		17,103,808				
臨時職員賃金支出	3,994,565	37,914,681		37,914,681				
法定福利費支出	2,843,607	12,237,103		12,237,103				
事業費支出	579,045	891,844		891,844				
保険料支出		114,280		114,280				
賃借料支出		10,200		10,200				
車両費支出	579,045	615,994		615,994				
諸謝金支出		149,300		149,300				
手数料支出		2,070		2,070				
事務費支出	5,063,230	10,896,789		10,896,789				
福利厚生費支出	52,800	180,400		180,400				
旅費交通費支出	67,640	113,480		113,480				
職員等旅費交通費支出	67,640	113,480		113,480				
研修研究費支出		131,530		131,530				
職員等研修研究費支出		131,530		131,530				
事務消耗品費支出	483,678	1,008,541		1,008,541				
印刷製本費支出	108,139	686,406		686,406				
通信運搬費支出	326,379	1,565,391		1,565,391				
業務委託費支出		55,000		55,000				
手数料支出	3,348	472,658		472,658				
保険料支出	520,010	579,220		579,220				
賃借料支出	937,636	2,895,507		2,895,507				
土地・建物賃借料支出		645,056		645,056				
租税公課支出	2,563,600	2,563,600		2,563,600				
事業活動支出計(2)	28,223,534	110,102,327		110,102,327				
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 1,286,329	8,709,607		8,709,607				

施設整備等による収入	収入								
	施設整備等収入計(4)								
施設整備等による支出	支出								
	固定資産取得支出		914,400		914,400				
	車両運搬具取得支出		137,800		137,800				
	器具及び備品取得支出		776,600		776,600				
	施設整備等支出計(5)		914,400		914,400				
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 914,400		△ 914,400				
その他の収入	収入								
	サービス区分間繰入金収入	1,316,329	13,170,796	△ 13,170,796	0				
	(高齢者)サービス区分間繰入金収入	1,316,329	13,170,796	△ 13,170,796	0				
	その他の活動収入計(7)	1,316,329	13,170,796	△ 13,170,796	0				
その他の活動による支出	支出								
	拠点区分間繰入金支出	30,000	7,795,207		7,795,207				
	サービス区分間繰入金支出		13,170,796	△ 13,170,796	0				
	(高齢者)サービス区分間繰入金支出		13,170,796	△ 13,170,796	0				
	その他の活動支出計(8)	30,000	20,966,003	△ 13,170,796	7,795,207				
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	1,286,329	△ 7,795,207	0	△ 7,795,207				
	当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	0	0	0	0				
	前期末支払資金残高(11)	0	20,000,000		20,000,000				
	当期末支払資金残高(10)+(11)	0	20,000,000	0	20,000,000				

障がい者支援事業拠点区分 資金収支明細書
(自)令和 6年 4月 1日(至)令和 7年 3月31日

社会福祉法人名 社会福祉法人 和泉市社会福祉協議会

(単位:円)

勘定科目	サービス区分				合計	内部取引消去	拠点区分合計
	障がい者福祉サービス等事業	障がい者サービス等利用計画作成事業	基幹相談支援センター事業	障がい者地域活動支援センター事業			
受託金収入		394,530	57,538,730	8,450,210	66,383,470		66,383,470
市受託金収入		394,530	57,538,730	8,450,210	66,383,470		66,383,470
障がい支援区分認定調査事業受託金収入		394,530	0		394,530		394,530
基幹相談支援センター事業受託金収入			57,538,730		57,538,730		57,538,730
障がい者地域活動支援センター事業受託金収入				8,450,210	8,450,210		8,450,210
障がい福祉サービス等事業収入	66,046,042	6,950,882			72,996,924		72,996,924
総合支援給付費収入	65,577,986	6,950,882			72,528,868		72,528,868
介護給付費等収入	65,577,986				65,577,986		65,577,986
サービス利用計画作成費収入		6,950,882			6,950,882		6,950,882
利用者負担金収入	468,056				468,056		468,056
その他の収入		5,000			5,000		5,000
雑収入		5,000			5,000		5,000
事業活動収入計(1)	66,046,042	7,350,412	57,538,730	8,450,210	139,385,394		139,385,394
人件費支出	68,141,450	8,628,259	45,566,342	7,490,993	129,827,044		129,827,044
職員給料支出	9,402,582		19,401,403		28,803,985		28,803,985
職員俸給	6,465,300		13,289,014		19,754,314		19,754,314
職員諸手当	2,937,282		6,112,389		9,049,671		9,049,671
職員賞与支出	2,266,936		6,122,029		8,388,965		8,388,965
準職員賃金支出	7,450,445	7,410,122	5,787,917	6,408,875	27,057,359		27,057,359
臨時職員賃金支出	43,624,605		8,694,406		52,319,011		52,319,011
退職給付支出	60,000				60,000		60,000
法定福利費支出	5,336,882	1,218,137	5,560,587	1,082,118	13,197,724		13,197,724
事業費支出	128,890	81,651	1,682,634	228,063	2,121,238		2,121,238
保健衛生費支出				21,827	21,827		21,827
消耗器具備品費支出				83,976	83,976		83,976
保険料支出	40,410	8,180	21,210	5,620	75,420		75,420
車両費支出	0	73,471	728,674		802,145		802,145
諸謝金支出	88,000		39,000	116,640	243,640		243,640
業務委託費支出			893,750		893,750		893,750
手数料支出	480				480		480
事務費支出	3,018,902	512,295	8,747,027	557,654	12,835,878		12,835,878
福利厚生費支出	510,400	22,000	114,400	22,000	668,800		668,800
旅費交通費支出	0	20,780	60,040	1,920	82,740		82,740
職員等旅費交通費支出	0	20,780	60,040	1,920	82,740		82,740
研修研究費支出		12,500			12,500		12,500
職員等研修研究費支出		12,500			12,500		12,500
事務消耗品費支出	232,657	24,244	517,917	122,800	897,618		897,618
印刷製本費支出	258,289	108,137	253,395	108,140	727,961		727,961
修繕費支出			27,060		27,060		27,060
通信運搬費支出	359,518	232,216	608,485	211,724	1,411,943		1,411,943
業務委託費支出	411,400		2,159,190		2,570,590		2,570,590
手数料支出	458,308	12,588	304,540	72,548	847,984		847,984
保険料支出	141,370	79,830	463,290		684,490		684,490
賃借料支出	0	0	39,244	18,522	57,766		57,766
土地・建物賃借料支出	645,066				645,066		645,066
租税公課支出	800		4,199,466		4,200,266		4,200,266
雑支出	1,094				1,094		1,094
事業活動支出計(2)	71,289,242	9,222,205	55,996,003	8,276,710	144,784,160		144,784,160
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 5,243,200	△ 1,871,793	1,542,727	173,500	△ 5,398,766		△ 5,398,766

施設整備等による収支	収入										
	施設整備等収入計(4)										
	固定資産取得支出			453,200	148,500	601,700		601,700			
	器具及び備品取得支出			453,200	148,500	601,700		601,700			
	施設整備等支出計(5)			453,200	148,500	601,700		601,700			
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)			△ 453,200	△ 148,500	△ 601,700		△ 601,700			
	その他の活動による収支	収入									
		拠点区分間繰入金収入	7,596,391						7,596,391		7,596,391
		サービス区分間繰入金収入		1,901,793					1,901,793	△ 1,901,793	0
		(障がい者)サービス区分間繰入金収入		1,901,793					1,901,793	△ 1,901,793	0
その他の活動収入計(7)		7,596,391	1,901,793					9,498,184	△ 1,901,793	7,596,391	
支出											
拠点区分間繰入金支出		456,398	30,000	1,089,527	20,000			1,595,925		1,595,925	
サービス区分間繰入金支出		1,896,793			5,000			1,901,793	△ 1,901,793	0	
(障がい者)サービス区分間繰入金支出		1,896,793			5,000			1,901,793	△ 1,901,793	0	
その他の活動支出計(8)		2,353,191	30,000	1,089,527	25,000			3,497,718	△ 1,901,793	1,595,925	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	5,243,200	1,871,793	△ 1,089,527	△ 25,000			6,000,466	0	6,000,466		
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	0	0	0	0			0	0	0		
前期末支払資金残高(11)	30,000,000	0	0	0			30,000,000		30,000,000		
当期末支払資金残高(10)+(11)	30,000,000	0	0	0			30,000,000	0	30,000,000		

法人単位貸借対照表
令和 7年 3月31日 現在

		資産の部			負債の部			
		当年度末	前年度末	増減	当年度末	前年度末	増減	
流動資産		141,900,416	160,072,224	△ 18,171,808	流動負債	72,959,463	88,908,114	△ 15,948,651
現金預金		104,185,745	99,608,026	4,577,719	事業未払金	36,062,910	45,667,400	△ 9,604,490
事業未収金		29,968,631	59,716,175	△ 29,747,544	預り金	2,616,324	3,853,662	△ 1,237,338
未収金		7,142,040	33,520	7,108,520	職員預り金	3,320,792	9,434,344	△ 6,113,552
前払金		604,000	558,225	45,775	拠点区分間預り金	550	33,419	△ 32,869
仮払金		0	156,278	△ 156,278	仮受金	5,865	26,330	△ 20,465
					賞与引当金	22,601,122	21,574,059	1,027,063
固定資産		375,478,388	373,591,306	1,887,082	未払消費税等	8,351,900	8,318,900	33,000
基本財産		3,000,000	3,000,000	0	固定負債	63,654,327	58,382,917	5,271,410
定期預金		3,000,000	3,000,000	0	退職給付引当金	63,527,778	58,256,368	5,271,410
その他の固定資産		372,478,388	370,591,306	1,887,082	長期預り金	126,549	126,549	0
車輛運搬具		186,351	113,492	72,859	負債の部合計	136,613,790	147,291,031	△ 10,677,241
器具及び備品		7,980,562	8,019,119	△ 38,557	純資産の部			
ソフトウェア		4,255,696	6,010,328	△ 1,754,632	基本金	3,000,000	3,000,000	0
長期預り金		126,549	126,549	0	第1号基本金	3,000,000	3,000,000	0
退職給付引当資産		69,520,476	63,655,063	5,865,413	その他の積立金	290,337,314	292,595,315	△ 2,258,001
備品購入積立資産		13,095,094	14,836,825	△ 1,741,731	備品購入積立金	13,095,094	14,836,825	△ 1,741,731
運用財産積立資産		38,733,245	39,713,676	△ 980,431	運用財産積立金	38,733,245	39,713,676	△ 980,431
事業安定化基金積立資産		55,554,851	55,786,712	△ 231,861	事業安定化基金積立金	55,554,851	55,786,712	△ 231,861
善意銀行積立資産		32,564,448	31,989,036	575,412	善意銀行積立金	32,564,448	31,989,036	575,412
障がい者基金積立資産		12,891,112	12,888,793	2,319	障がい者基金積立金	12,891,112	12,888,793	2,319
社会福祉基金積立資産		123,795,465	123,679,235	116,230	社会福祉基金積立金	123,795,465	123,679,235	116,230
災害基金積立資産		13,703,099	13,701,038	2,061	災害基金積立金	13,703,099	13,701,038	2,061
その他の固定資産		71,440	71,440	0	次期繰越活動増減差額	87,427,700	90,777,184	△ 3,349,484
					(うち当期活動増減差額)	△ 5,607,485	△ 21,563,514	15,956,029
資産の部合計		517,378,804	533,663,530	△ 16,284,726	負債及び純資産の部合計	380,765,014	386,372,499	△ 5,607,485
					負債及び純資産の部合計	517,378,804	533,663,530	△ 16,284,726

監査報告書

令和7年5月20日

社会福祉法人
和泉市社会福祉協議会
会長 佐藤 正浩 様

監事

后石千里



監事

笠井 慎之



私たち監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの令和6年度の理事の職務執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告書等（事業報告及びその附属明細書）について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

① 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

② 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。